

# 木場潟公園東園地トイレ棟建設工事（建築）

## 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	(建築)				(構造)
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	木造建築工事仕様書 その1	A-21	部分詳細図	S-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[1]
A-02	木造建築工事仕様書 その2	A-22	家具キープラン・リスト	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[2]
A-03	木造建築工事仕様書 その3	A-23	サイン図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[3]
A-04	木造建築工事仕様書 その4	A-24	全体配置図	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[4]
A-05	木造建築工事仕様書 その5			S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[5]
A-06	求積図・面積表			S-06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図[6]
A-07	仕上表			S-07	基礎伏図
A-08	ビット平面図			S-08	土台伏図
A-09	平面図・断面図			S-09	小屋伏図
A-10	立面図			S-10	母屋伏図
A-11	屋根伏図			S-11	軸組図1
A-12	天井伏図			S-12	軸組図2
A-13	矩計図(1)			S-13	軸組図3
A-14	矩計図(2)			S-14	軸組図4
A-15	矩計図(3)			S-15	壁量計算
A-16	平面詳細図			S-16	地盤改良伏図
A-17	展開図				
A-18	建具キープラン				
A-19	建具リスト				
A-20	建具リスト				

**Y&E** 山岸建築設計事務所

質問のある者は  
指定日時までに営繕課へ提出する事。  
現地説明無し。

監 修					
石川 県 土 木 部 営 繕 課					
年 月 日					
課 長	担当課長	課 参 事	課長補佐	GL	担 当





29 電子納品 行う(「電子納品仕様書」による。) ・行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでの電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

30 騒音振動の防止 隣接建物又は工作物の調査 敷地の状況確認 31 騒音振動の防止 隣接建物又は工作物の調査 敷地の状況確認 32 騒音振動の防止 隣接建物又は工作物の調査 敷地の状況確認 33 ダンプトラック等による過積載等の防止 1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込まないこと。 2) さし杵装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込まないこと。 3) 過積載車両、さし杵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 34 景観への配慮 ・当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。

2 建設発生土の処理 ①現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積 ○構内指示の場所に敷き均し ・構外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと) ・指定(想定)排出先 受入場所: 受入時間帯: 時 分 - 時 分 仮置き等: ・自由処分(「建設発生土情報交換システム」等を活用する) ③地盤改良 ④六価クロム溶出試験 5 既製コンクリート杭地業 1)種類 【4.3.1】 【4.3.2】 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭

1 コンクリート ①型枠 ①無筋コンクリート ①基礎工事 4 章 木 造 工 事 特 記 事 項 1 材料 使用する材料は、図示及び特記による指定並びに木標仕各章の規定による。(4.1.1) ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・第3種 2 防露・防蟻処理 適用部位及び処理の種類 ・処理しない(部材・部位) ・薬剤の加圧注入(部材・部位 土台、柱) (保存処理性能区分 ・K2) ・(K3) ・(K4) ・薬剤の塗布等(部材・部位 外周部φL1,000mm以下の木材) 3 地盤の土壌の防蟻処理 地盤の土壌への薬剤による防蟻処理 ・行う ・行わない (4.2.3) 施工範囲 \*図示 使用薬剤( )、使用量( ) 4 防露処理 1)土台底及び柱底がモルタル及びコンクリートと取合う場合 (材料名: 基礎パッキン) で縁を切り、「木標仕4.2.1」による木材の防露処理を行う。(4.2.4) 2)床下換気 基礎の外周部の換気孔の種類 ○なこ土台(基礎パッキン) ・換気孔 (4.2.4) 3)小屋裏換気 \*図示 (4.2.4) 5 県産材使用証明 ①埋戻し及び盛土 種類 ・A種 B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土

5 章 軸 組 構 法 (壁構造系) 工 事 特 記 事 項 1 適用範囲 \*この章は、建築基準法施行令第46条第4項の壁量を満たす建築物に適用する。(5.1.1) 構造材及び下張材の現場搬入時の含水率 20%以下 (5.2.2) 部材ごとの樹種(使用箇所、樹種、及び品質は下表による。各詳細図による) 2 適用範囲 木材等

5 章 軸 組 構 法 (軸構造系) 工 事 特 記 事 項 1 適用範囲 \*この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。(6.1.1) 2 集材材 \*構造用集材材 \*図示(部材リスト)による (6.2.2) ・JAS1152号「集材材の日本農林規格」第5条「構造用集材材」の規格による。(樹種: )、(寸法:短辺 材長 ) (強度等級: ) (材面の品質:1種 ・2種 ・3種) (接着性能:使用環境A ・使用環境B ・使用環境C) ・化粧ばり構造用集成柱 ・JAS1152号「集材材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成柱」の規格による。(樹種:化粧薄板 ・芯材) (寸法:短辺 材長 )、化粧薄板の厚さ) ・構造用単板積層材 ・JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。(等級:特級 ・1級 ・2級) (接着性能:使用環境A ・使用環境B ・使用環境C) (樹種:化粧薄板 ・芯材) (寸法:短辺 材長 )、化粧薄板の厚さ) (曲げヤング係数区分: E ) その他 以下の材は、各章適用 集成材、構造用単板積層材 「6章軸組構法(軸構造系)工事」適用 枠組壁工法構造用製材、枠組壁工法構造用たて継ぎ材 「7章枠組壁工法工事」適用 丸太材 「8章丸太組構法工事」適用 重交集成材 「9章CLTパネル工法工事」適用 能登ヒバ、杉、は県産材として代用樹種は認めない。 構造用面材は、次のものを適用する。(5.2.3) ・構造用パーティクルボード(JIS A5908)(材厚: )(仕様: ) ・構造用5F「アルファファイバーボード」(JIS A5905)(材厚: )(仕様: ) ・構造用合板(合板の日本農林規格)(材厚: 12mm )(仕様: 特級、1級、2級) ・化粧ばり構造用合板(合板の日本農林規格)(材厚: )(仕様: ) ・構造用パネル(JAS360号)(材厚: )(等級: ) ・パーティクルボード(JIS A5908)(材厚: )(仕様: ) ・ハードファイバーボード(JIS A5905)(材厚: )(仕様: ) ・硬質木片セメント板(JIS A5404)(材厚: ) ・パルプセメント板(JIS A5414)(材厚: )(種類: ) ・構造用せっこうボード(JIS A6901)(A種 ・B種)(材厚: ) ・せっこうボード(JIS A6901)(材厚: ) ・強化せっこうボード(JIS A6901)(材厚: ) ・せっこうラスボード(JIS A6901)(材厚: ) ・シージングボード(JIS A5905)(材厚: ) ・ラスシート(JIS A5524) ・構造用単板積層材(単板積層材の日本農林規格)(仕様: )

5 接合金物・接合具等 接合金物の種類 ○Zマーク表示金物 ・Cマーク表示金物 ・Dマーク表示金物 ・Sマーク表示金物 ・上記以外 (仕様: ) (5.2.4) ○アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ( mm ) ○図示 (5.5.3) ・アンカーボルトの埋込み工法(A種 ・B種) ○図示 (表5.5.1) ・釘及び木ねじの工法 ・図示による (5.5.9) (釘の種類: ) (釘打間隔: ) 構造材を仕上材とする場合の釘打仕様 ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つばし頭釘打ち ・釘頭現し (5.5.9) ・各種ボルトの工法 (ボルトの種類: ) (仕様: ) ・ラグスクリューの工法 形状、寸法等 図示 (5.5.11) ・ドリフトピン工法 ドリフトピン径 図示 (5.5.12) ・木だぼの工法 木だぼ径 図示 (5.5.13) \*各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。 (5.3.1) ~ (5.3.4) (5.4.2) 6 防露・防蟻処理 木材の加工 継手・仕口 部材・部位 ・腰掛あり継ぎ ・土台 ・軒桁 ○棟木・母屋 ・大引 ・腰掛かま継ぎ ○土台 ・間差 ・軒桁 ・床梁 ・垂掛大柱継ぎ ・間差 ・軒桁 ・床梁 ・持柱継ぎ ・小屋梁(丸太) ・大入れあり掛け ・土台 ○小屋梁 ・大引 ・床梁 ・傾ぎ大入れ ・火打土台 ○火打梁 ・まぐさ、窓台 ・傾ぎ大入れ短ほぞ差し ・間差 ・まぐさ、窓台 ・かぶとあり掛け ・小屋梁 ・長ほぞ差し ・柱(上端 ・下端) ・短ほぞ差し ○柱(上端) ○下端 8 軸組 各部材の断面寸法及び間隔は各詳細図による。 ・鋼製土台火打材の使用 有 ○無 (5.6.2) 9 屋根野地 屋根野地の種類、規格、厚さ、仕様 (5.7.9) ・ひき板野地(厚さ、継手、取付け方法) 留付け釘(種類、間隔) ○構造用パネル(JAS360号)(板厚 12mm )(等級) 留付け釘(種類、間隔) ・鋼製火打材の使用 有 ○無 (5.7.8)

6 章 軸 組 構 法 (軸構造系) 工 事 特 記 事 項 1 適用範囲 \*この章は、建築基準法施行令第46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する。(6.1.1) 2 集材材 \*構造用集材材 \*図示(部材リスト)による (6.2.2) ・JAS1152号「集材材の日本農林規格」第5条「構造用集材材」の規格による。(樹種: )、(寸法:短辺 材長 ) (強度等級: ) (材面の品質:1種 ・2種 ・3種) (接着性能:使用環境A ・使用環境B ・使用環境C) ・化粧ばり構造用集成柱 ・JAS1152号「集材材の日本農林規格」第6条「化粧ばり構造用集成柱」の規格による。(樹種:化粧薄板 ・芯材) (寸法:短辺 材長 )、化粧薄板の厚さ) ・構造用単板積層材 ・JAS701号「単板積層材の日本農林規格」第4条「構造用単板積層材」の規格による。(等級:特級 ・1級 ・2級) (接着性能:使用環境A ・使用環境B ・使用環境C) (樹種:化粧薄板 ・芯材) (寸法:短辺 材長 )、化粧薄板の厚さ) (曲げヤング係数区分: E ) その他 以下の材は、各章適用 製材 「5章軸組構法(壁構造系)工事」適用 接合金物・接合具等 接合金物の種類 ○Zマーク表示金物 ・Cマーク表示金物 ・Dマーク表示金物 ・Sマーク表示金物 ・上記以外 (仕様: ) (5.2.4) ○アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ( mm ) ・アンカーボルトの埋込み工法(A種 ・B種) (表5.5.1) \*各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。 (5.3.1) ~ (5.3.4) (5.4.2) 3 接合金物・接合具等 接合金物の種類 ○Zマーク表示金物 ・Cマーク表示金物 ・Dマーク表示金物 ・Sマーク表示金物 ・上記以外 (仕様: ) (5.2.4) ○アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ( mm ) ・アンカーボルトの埋込み工法(A種 ・B種) (表5.5.1) \*各金物の使用ヶ所及び種別は図示による。 (5.3.1) ~ (5.3.4) (5.4.2) 設 計 石 川 県 土 木 部 営 繕 課 工 事 名 木 場 鴻 公 園 東 園 地 ト イ レ 棟 建 設 工 事 ( 建 築 ) 図 面 名 木 造 建 築 工 事 仕 様 書 そ の 2 図 面 番 号 A - 0 2

4	表面仕上げ	見え掛かりの面の仕上げ程度	・A種 B種	(6.4.6)(表6.4.2)
5	柱底均し仕上げ	・無収縮モルタル 柱底均しモルタルの厚さ 柱底均しモルタルの工法	・使用する A種 B種	(6.5.4) (表6.5.2)
6	接合	・各種ボルトの工法 (ボルトの種類; ・ラグスクリューの工法 ・ドリフトピン ・木だば ・ジベル接合	(仕様; 形状、寸法等 ドリフトピン径 木だば径 種類、材質、形状、寸法等	(6.5.11) (6.5.12) (6.5.13) (6.5.14) (6.5.15)(6.5.16)

7	丸太組壁の端部及び開口部周囲の補強方法	補強材を入れて補強する場合の樹種、断面寸法、及び取付け方法等 * 図示	(8.4.8)
8	小屋組(7節)一般事項	小屋組と耐力壁等と接合する金物の寸法は次による。 部 材 接合金物の寸法 垂木と桁材等 桁材と壁材等 樹種及び断面寸法、仕口及び継手の形状、接合金物及びお接合具は次による。 * 図示	(8.7.1) (8.7.2)~(8.7.9) (8.7.10)
9	屋根野地	野地板の材料は次による。 材 料 厚さ(mm) 品 質	(8.7.2)~(8.7.9) (8.7.10)
10	床組(8節)	樹種及び断面寸法、仕口及び継手の形状、接合金物及び接合具は次による。 * 図示	(8.8.1)~(8.8.7)
11	丸太組壁と取合う造作工事(9節)一般事項	木材の樹種及び寸法 ・ 図示	(8.9.1)

7章 枠組壁工法工事 特記事項

1	構造耐力上主要な部分に用いる枠組材	枠組材の規格 * 図示(部材リスト)による	(7.2.2)(表7.2.1)
2	床材、壁材及び屋根下地材	床材、壁材及び屋根下地材の材料等は次表による 部材の種類 材料の種類 厚さ(mm) サイズ(mm) 規 格 床下張材 屋根下張材 壁下張材	(7.2.2)(表7.2.2)
3	接合金物・接合具等	接合金物の種別 ・Cマーク表示金物 ・Zマーク表示金物 ・マーク表示金物 ・Dマーク表示金物 ・Sマーク表示金物 ・上記以外(仕様; ・アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ(mm) ・アンカーボルトの埋込み工法(・A種 ・B種) * 各金物の使用ヶ所及び種別は図示による	(7.2.4) (7.5.3) (表7.5.1)
4	防蟻・防蟻処理	4章2防蟻・防蟻処理による	(7.3.1)~(7.3.4)
5	床枠組	プラットフォーム方式の床枠組 床根太(寸法; 床材留め付け釘、ねじ(種類; 床版の開口補強方法(・図示	(7.7.1) (7.7.1)
6	壁枠組	たて枠相互の間隔 壁材留め付け釘、ねじ(種類; (間隔; (間隔;	(7.8.1) (7.8.1)

8章 丸太組構法工事 特記事項

1	適用範囲	*この章は、延べ面積300㎡以下、高さ8.5m以下、地階を除く階数1以下(小屋裏利用2階建て可)、耐力壁相互の距離が6m以下で、かつ、耐力壁線で囲まれた面積が30㎡以下の小規模丸太組構法の建築物に適用する。	(8.1.1)
2	材料(2節)	使用する木材の樹種、品質等は次による。 部 位 樹 種 断面寸法 規格・等級 壁体 床組 小屋組 木製だば ・構造上主要な部分に使用する丸太等の含水率(丸太) % (製材) % ( ) % 接合金物等の品質等は次による。 部 位 部 材 記号・寸法 規格・等級 防蟻処理 土台 壁体	(8.2.2)(8.2.3) (8.2.5)
3	防蟻・防蟻処理	4章2防蟻・防蟻処理による。	(8.3.1)~(8.3.4)
4	仮組立	仮組立 行う 行わない	(8.4.9)
5	アンカーボルトの埋込み	・アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ(mm) ・アンカーボルトの埋込み工法(・A種 ・B種)	(8.5.3) (表8.5.1)
6	だばの工法	だばの種類 木だば 鋼製だば ラグスクリューだば だばの仕様 (本数; (間隔; (材質; (寸法; )	(8.5.6)

9章 C L Tパネル工法工事 特記事項

1	適用範囲	*この章は、構造耐力上主要な部分(基礎及び基礎杭を除く)に、CLTパネル工法を用いた建築物に適用する。	(9.1.1)
2	木材等	使用する木材の樹種、品質等は次による。 部 位 樹 種 規 格	(9.2.2)
3	接合金物・接合具等	接合金物の種別 ・Cマーク表示金物 ・Zマーク表示金物 ・マーク表示金物 ・Dマーク表示金物 ・Sマーク表示金物 ・上記以外(仕様; ・アンカーボルトの埋込み ・アンカーボルトの埋込み深さ(mm) ・アンカーボルトの埋込み工法(・A種 ・B種) * 各金物の使用ヶ所及び種別は図示による	(9.2.3) (9.5.3) (表7.5.1)
4	防蟻・防蟻処理	4章2防蟻・防蟻処理による	(9.3.1)~(9.3.4)
5	表面仕上げ	表面の仕上げ程度 A種 B種	(9.4.5)(表9.4.2)
6	仮組立	仮組立 行う 行わない	(9.4.6)

10章 防水工事 特記事項

1	F R P系塗膜防水	施工箇所 ルーフトレンの種別 下地の構造は次表による。 部 位 樹 種 等 寸 法 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防火板の設置 防火板の種類(ケイ酸カルシウム板 厚さ10mm) 水張り試験 防水工事は責任施工とし、下記保証年限の保証書を提出する。(保証年限)・10年 下表以外は、「木標仕」表11.3.1による。 施工箇所 シーリング材の種別(記号) 開口部廻り M S - 2 タイル、化粧板取合い P S - 2 接着性試験 簡易接着性試験 引張接着性試験	(11.2.2)(表11.2.1) (11.2.4) (11.2.4) (11.2.4) (11.3.2)(表11.3.1) (11.3.5)
2	シーリング		

10章 木 工 事 特記事項		
1	適用範囲	
2	木材等	
窓 口 給 出 入	額縁、三方枠	杉
敷 居 ・ か も い		
床 板 張 り		
内 外 壁 ・ 下 地	内外壁下地	米松
内 外 壁 張 り	外壁 羽目板張り 内壁 羽目板張り	能登ひば 杉
天 張 り	羽目板張り	能登ひば
階 段		
押 入		
ひ さ し		
下張材に対する釘の打込み本数	* 図示	(10.2.4)
屋外に使用する木材の保護塗料塗り	行う 行わない	(10.3.1)
木材保護塗料塗り(WP)の種別(標仕)	B種 A種	【18.13.2】【表18.13.1】

11章 防 水 工 事 特記事項

11章 防 水 工 事 特記事項	
1	F R P系塗膜防水
2	シーリング

12章 石 工 事 特記事項

12章 石 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	天然石張り
3	テラゾ張り
4	壁の石張り工法
5	床及び階段の石張り
13章 タ イ ル 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	陶磁器質タイル
3	壁タイル張りの工法
4	コンクリート素地面の処理
14章 屋 根 及 び と い 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	下地及び下葺

12章 石 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	天然石張り
3	テラゾ張り
4	壁の石張り工法
5	床及び階段の石張り

13章 タ イ ル 工 事 特記事項

13章 タ イ ル 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	陶磁器質タイル
3	壁タイル張りの工法
4	コンクリート素地面の処理

14章 屋 根 及 び と い 工 事 特記事項

14章 屋 根 及 び と い 工 事 特記事項	
1	適用範囲
2	下地及び下葺



Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 金属板葺 (Metal Plate Roofing), 平葺 (Flat Roofing), 心木なし瓦葺 (No-core Tile Roofing), 粘土瓦葺 (Clay Tile Roofing), とい (Notes), and 雪止め (Snow Stop).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 15章 金属工事 (Metal Work), 16章 左官工事 (Plastering Work), and 17章 建具工事 (Joinery Work).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 18章 断熱・防露・ユニット及びその他工事 (Insulation, Vapor Barrier, Units, etc.), 19章 内装工事 (Interior Work), and 20章 断熱・防露・ユニット及びその他工事 (Insulation, Vapor Barrier, Units, etc.).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 防火戸 (Fire Door), 2 見本の製作 (Sample Making), 3 アルミニウム製建具 (Aluminum Joinery), 4 樹脂製建具 (Resin Joinery), 5 鋼製建具 (Steel Joinery), 6 網製軽量建具 (Mesh Lightweight Joinery), 7 ステンレス建具 (Stainless Steel Joinery), 8 木製建具 (Wood Joinery), 9 防音・断熱建具等 (Soundproofing/Insulation Joinery), 10 建具用金物 (Joinery Hardware), 11 ガラス (Glass), 12 シーリング (Sealing), 13 ガラスブロック積み (Glass Block Stacking), 14 自動ドア開閉装置 (Automatic Door Opening/Closing Device), 15 自閉式上り引戸装置 (Self-closing Overhead Door Device), 16 重量シャッター (Heavy Shutter), 17 軽量シャッター (Lightweight Shutter), 18 オーバーヘッドドア (Overhead Door).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 一般事項 (General Items), 2 素地ごしらえ (Surface Preparation), 3 錆止め塗料塗り (Rust Prevention Coating), 4 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) (Synthetic Resin Mixed Paint), 5 クリヤラッカー塗り (CL) (Crylacquer), 6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) (Acrylic Resin Non-water Dispersible Coating), 7 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) (Gloss Synthetic Resin Emulsion Paint), 8 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) (Synthetic Resin Emulsion Paint), 9 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (Urethane Resin Varnish), 10 木材保護着色塗料塗り (WP) (Wood Protection Coloring Coating).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 材料 (Materials), 2 ビニール床シート、ビニール床タイル及びゴム床タイル張り (Vinyl Floor Sheet, Vinyl Floor Tiles, and Rubber Floor Tiles), 3 カーペット敷き (Carpet Laying), 4 フローリング張り (Flooring Laying), 5 畳敷き (Straw Mat Laying).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 6 セッコウボード、その他ボード及び合板 (Secco Board, etc.), 7 壁紙張り (Wallpapering).

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 1 断熱・防露 (Insulation/Vapor Barrier), 2 ユニット工事 (Unit Work), 3 その他工事 (Other Work).

Form for project completion and design details. Includes fields for '完成 (監修) 設計 監理' (Completion/Supervision/Design/Supervision) and '工事名 令和年月日' (Project Name and Date).

リサイクル製品の使用  
 (1)リサイクル製品は、「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。  
 石川県リサイクル認定製品 ・使用する

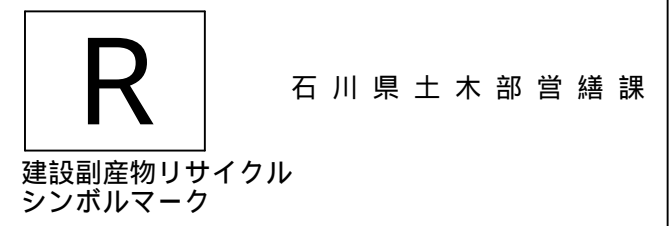
---

「石川県リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。  
<http://www.pref.ishikawa.jp/> (石川県 生活環境部 資源循環推進課)

(2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。

(3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの)  
 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。

この建築工事ではリサイクル製品として



石川県土木部 営繕課

建設副産物リサイクルシンボルマーク

(注)建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

21章 排水工事  
 特記事項

1	排水管	排水管用材料 (21.1.1)【21.2.1】【表21.2.1】												
		<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> <tr> <td>・遠心鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> </tr> </table>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	・遠心鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	B形(ゴム接合)	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU		・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU	
材種	管の種類	管形状(接合方法)												
・遠心鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	B形(ゴム接合)												
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU													
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU													

2	排水溝及び枘蓋等	排水溝及び枘蓋の種類、形状、寸法 *図示 (21.1.1)【21.2.1】
---	----------	--

22章 舗装工事  
 特記事項

1	盛土に用いる材料	・A種 B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土																				
2	凍上抑制層の材料	再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利																				
3	路床	路床安定処理 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 ・生石灰 添加量 kg/m <sup>3</sup> (目標CBR 5以上) ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ(mm) 0.5~1.0 引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10 <sup>-2</sup> cm/sec以上																				
4	路盤	透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ 車道部 150mm 歩道部 50mm 路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 行う 砂の粒度試験 行う 材料 再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40) 路盤の厚さ																				
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・100 ・150</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>カラー舗装</td> <td>・100 ・150 ・250</td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト舗装</td> <td></td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブロック舗装</td> <td>・100 ・150 ・250</td> <td>・100</td> </tr> </table>		舗装の種類	路盤の厚さ(mm)		車道部	歩道部	アスファルト舗装	・100 ・150 ・250	・100	コンクリート舗装	・100 ・150	・100	カラー舗装	・100 ・150 ・250	・100	透水性アスファルト舗装		・100	インターロッキングブロック舗装	・100 ・150 ・250	・100
	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																				
		車道部	歩道部																			
	アスファルト舗装	・100 ・150 ・250	・100																			
コンクリート舗装	・100 ・150	・100																				
カラー舗装	・100 ・150 ・250	・100																				
透水性アスファルト舗装		・100																				
インターロッキングブロック舗装	・100 ・150 ・250	・100																				
路盤の締固め度試験 行う		【22.3.5】																				

5	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ 【22.4.2】														
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>基層</th> <th>表層</th> </tr> <tr> <td>車道部(基層なし)</td> <td></td> <td>・50</td> </tr> <tr> <td>車道部(基層あり)</td> <td>・50</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td></td> <td>・30</td> </tr> </table>	部位	舗装の厚さ(mm)		基層	表層	車道部(基層なし)		・50	車道部(基層あり)	・50	・30	歩道部		・30
部位	舗装の厚さ(mm)															
	基層	表層														
車道部(基層なし)		・50														
車道部(基層あり)	・50	・30														
歩道部		・30														
		アスファルト 再生アスファルト ・ストレートアスファルト 【22.4.3】														
		再生加熱アスファルト混合物の種類 【22.4.4】【表22.4.4】														
		区分 ・一般地域 寒冷地域														
		表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13)														
		シールコート 行わない ・行う(施工範囲) アスファルト混合物の抽出試験 行わない ・行う 【22.4.5】 【22.4.6】														

6	コンクリート舗装	早強セメント 使用しない ・使用する 注入目地材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 溶接金網 有り ・無し 厚さ試験 行う ・行わない 【22.5.3】 【表22.5.2】 【22.5.3】 【表22.5.4】 【22.5.6】
---	----------	---

7	カラー舗装	カラー舗装の種類 【22.6.2~22.6.4】【表22.6.1、表22.6.2】																														
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>着色骨材等</th> <th>顔料の添加量等</th> <th>カラー舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td>なし</td> <td>・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</td> <td>・5~7%</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・あり</td> <td>・自然石</td> <td>%</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・樹脂系混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5~10</td> </tr> <tr> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・エメリー ・着色磁器質骨材</td> <td></td> <td>3~5</td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1程度以下</td> </tr> </table>	種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)	アスファルト混合物	なし	・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)	・5~7%	50	・石油樹脂系混合物	・あり	・自然石	%	・30	・樹脂系混合物				5~10	・ニート工法		・エメリー ・着色磁器質骨材		3~5	・塗布工法				1程度以下
種類	車道部の基層	着色骨材等	顔料の添加量等	カラー舗装の厚さ(mm)																												
アスファルト混合物	なし	・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)	・5~7%	50																												
・石油樹脂系混合物	・あり	・自然石	%	・30																												
・樹脂系混合物				5~10																												
・ニート工法		・エメリー ・着色磁器質骨材		3~5																												
・塗布工法				1程度以下																												

8	透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 行わない ・行う 【22.7.6】【22.4.6】
---	-------------	---

9	ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 【22.8.2】【22.8.3】															
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> <td>・研出し ・洗出し</td> </tr> <tr> <td>透水平板(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> <td>・たき出し</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	普通平板(N)	300角	60	砂	・研出し ・洗出し	透水平板(P)			・モルタル	・たき出し
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工													
普通平板(N)	300角	60	砂	・研出し ・洗出し													
透水平板(P)			・モルタル	・たき出し													

		・インターロッキングブロック舗装 【22.8.2】【22.8.3】																				
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>普通タイプ</td> <td>5N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>車道部 80 歩道部 60</td> <td>標準タイプ ・表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・透水性タイプ</td> <td>3N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・植生タイプ</td> <td>4N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>100 ・80</td> <td></td> </tr> </table>	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	普通タイプ	5N/mm <sup>2</sup> 以上	車道部 80 歩道部 60	標準タイプ ・表面化粧タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ			誘導、注意喚起用は黄色とする	・透水性タイプ	3N/mm <sup>2</sup> 以上			・植生タイプ	4N/mm <sup>2</sup> 以上	100 ・80	
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																			
普通タイプ	5N/mm <sup>2</sup> 以上	車道部 80 歩道部 60	標準タイプ ・表面化粧タイプ																			
・誘導、注意喚起用タイプ			誘導、注意喚起用は黄色とする																			
・透水性タイプ	3N/mm <sup>2</sup> 以上																					
・植生タイプ	4N/mm <sup>2</sup> 以上	100 ・80																				

		製造所 JIS A 5371による。								
		・舗石舗装 【22.8.2】【22.8.3】								
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>小舗石(花こう岩)</td> <td>80~100</td> <td>うるこ張り</td> <td>コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	小舗石(花こう岩)	80~100	うるこ張り	コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層							
小舗石(花こう岩)	80~100	うるこ張り	コンクリート舗装 ・アスファルト舗装							

10	区画線	路面表示用塗料																						
		<table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色彩</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">JIS K 5665</td> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>幅 150 厚さ 1.0</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>融融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩	JIS K 5665	・1種	常温	液状	幅 150 厚さ 1.0	白	・2種	加熱			黄	・3種	融融	粉体状		
規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	色彩																			
JIS K 5665	・1種	常温	液状	幅 150 厚さ 1.0	白																			
	・2種	加熱			黄																			
	・3種	融融	粉体状																					

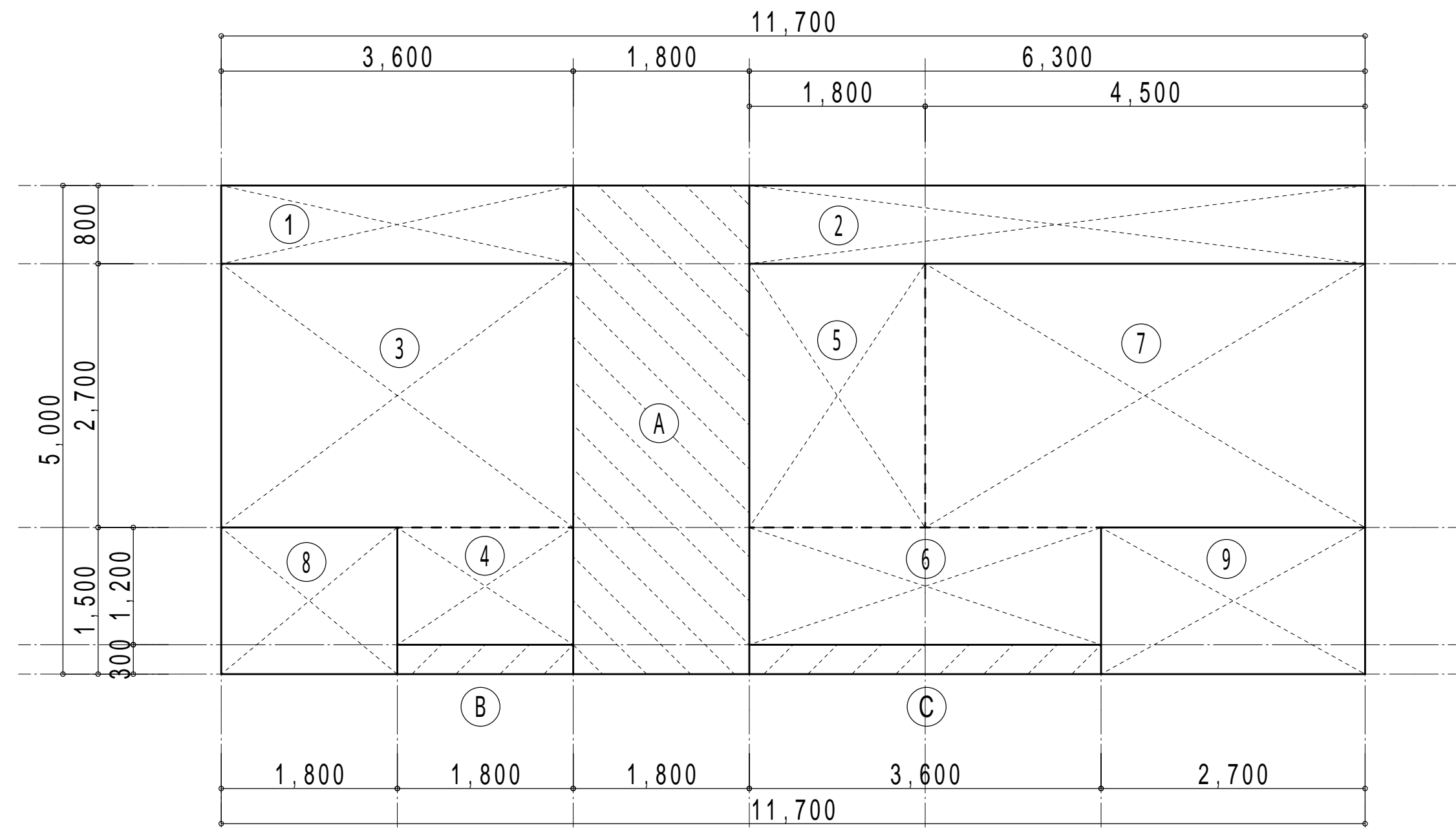
		揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。
		23章 植栽工事 特記事項

1	土壌の酸度、塩分量試験	行う (23.1.1)【23.1.3】																				
2	樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 【23.2.2】【表23.2.1】【表23.2.2】																				
		<table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>行う ・行わない</td> <td>20</td> <td>B種</td> <td>植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table>	適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	行う ・行わない	20	B種	植栽範囲 ・図示												
適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																			
行う ・行わない	20	B種	植栽範囲 ・図示																			
		樹木 【23.2.2】【表23.2.1】【表23.2.2】																				
		<table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>100</td> <td>A種</td> <td>葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table>	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	100	A種	葉張りの範囲	・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	60	・C種	・図示	・3未満	50	・D種	
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																			
・12以上	100	A種	葉張りの範囲																			
・7以上~12未満	80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																			
・3以上~7未満	60	・C種	・図示																			
・3未満	50	・D種																				
		工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。																				
3	植込み用土	現場発生土の良質土 ・寄土(畑土 ・黒土) 【23.2.3】																				

4	土壌改良材	適用する 【23.2.3】【23.2.4】 「肥料取締法」に基づき登録されたもの、又は、「地力増進法」で届出されたものを使用すること。 施工箇所 植栽範囲 ・図示 ・パークたい肥 ・発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする。
5	支柱材	丸太又は間伐材 ・竹 【23.3.2】
6	幹巻き用テープ	幹巻き用テープ ・わら及び、こも 【23.3.2】
7	芝張り	種類 こうらい芝 ・野芝 【23.4.2】
8	枯補償	提出すること。
9	吹付けは種	種子の種類 洋芝類又はクローバー(採取後2年以内) 種子の量 発芽率80%以上 【23.4.2】

23章 その他  
 特記事項

1	いしかわ週休2日工事	1)適用 工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」(以下、週休2日工事)という。)の適用については、次のとおりとする。 対象 ・対象外 2)週休2日工事の内容 (1)受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (2)受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3)受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4)受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5)週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 (6)分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (7)受注者は、発注者が必要と認めた場合、別に定めるアンケート調査に協力すること。 (8)当初設計において、週休2日(4週8休以上、現場閉所率28.5%(8日/28日)以上)を前提に補正係数1.05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正している。 (9)発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(8)の補正分を減額する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。
2	余裕期間制度 試行工事	1)余裕期間制度対象工事の内容 (1)本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領に基づき実施するものとする。 (2)受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 (3)受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 (4)工期は受注者が任意で設定した着工日及び完成日を記載する。 (5)受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 (6)受注者は、着工日までの余裕期間内に工事(工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。)に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 (7)受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任(監理)技術者の配置を要しない。 (8)受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 (9)余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 (10)その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領によるものとする。  (着工日の期限) 契約締結日から起算して ヶ月以内 (完成日の期限) 令和 年 月 日以内



求積図 S = 1 / 50

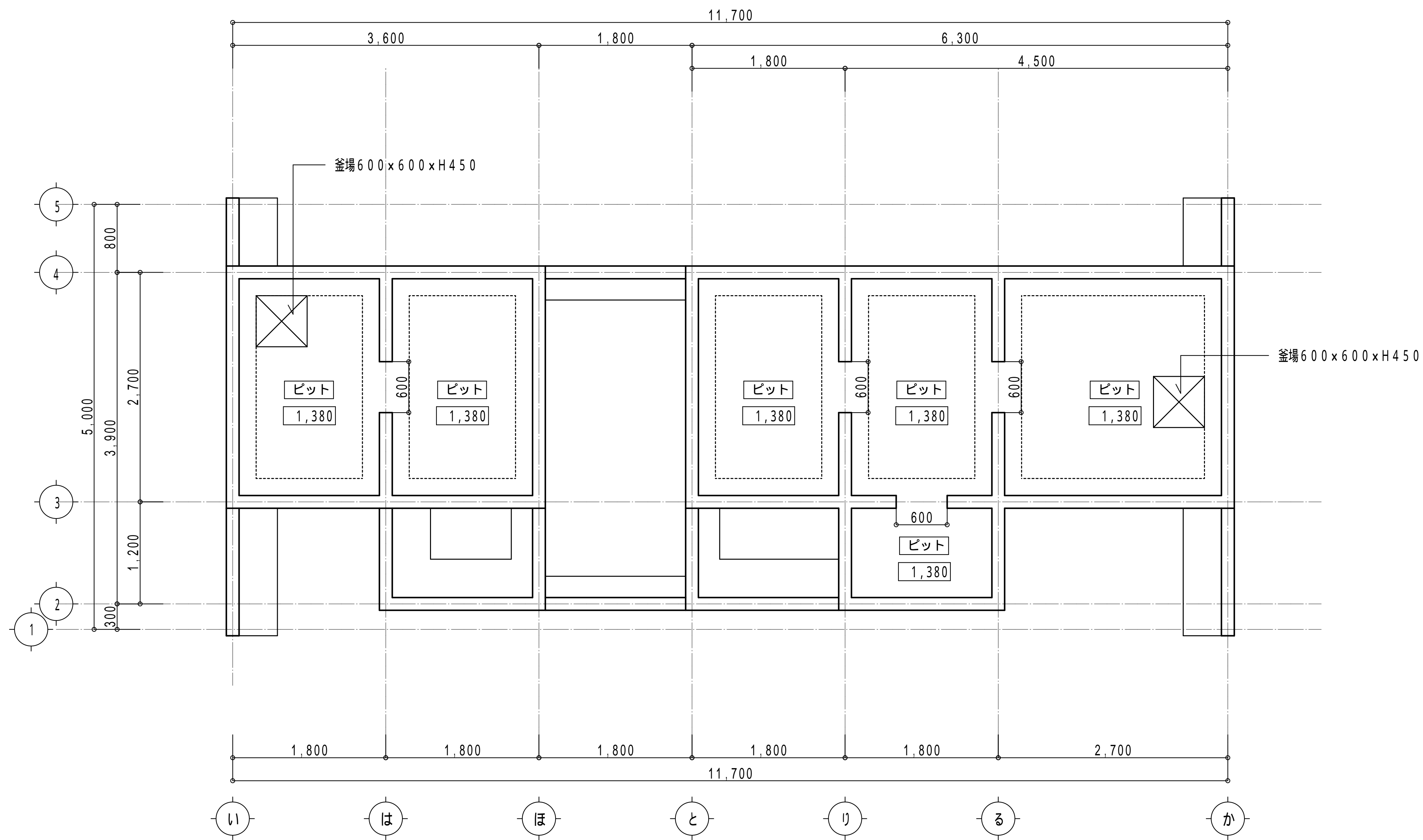
面積表

符号	室名	計算式	床面積 (㎡)
①	ベンチ・足洗い場	3.60 x 0.80	2.88
②	ベンチ・足洗い場	6.30 x 0.80	5.04
③	WC (男)	3.60 x 2.70	9.72
④	WC (男)	1.80 x 1.20	2.16
⑤	多目的WC	1.80 x 2.70	4.86
⑥	WC (女)	3.60 x 1.20	4.32
⑦	WC (女)	4.50 x 2.70	12.15
⑧	自販機置場	1.80 x 1.50	2.70
⑨	ベンチ・足洗い場	2.70 x 1.50	4.05
A	通路	1.80 x 5.00	9.00
B	土縁	1.80 x 0.30	0.54
C	土縁	3.60 x 0.30	1.08
1階・延床面積 (1~9)			47.88
敷地面積			0.00
建築面積 (1~9、A、B、C)			58.50
建ぺい率			$58.50 / 0.00 \times 100 = 0.00\% < 60\%$
容積率			$47.88 / 0.00 \times 100 = 0.00\% < 200\%$

① ② ③ は屋内の用途ではないため、床面積には不算入とする。

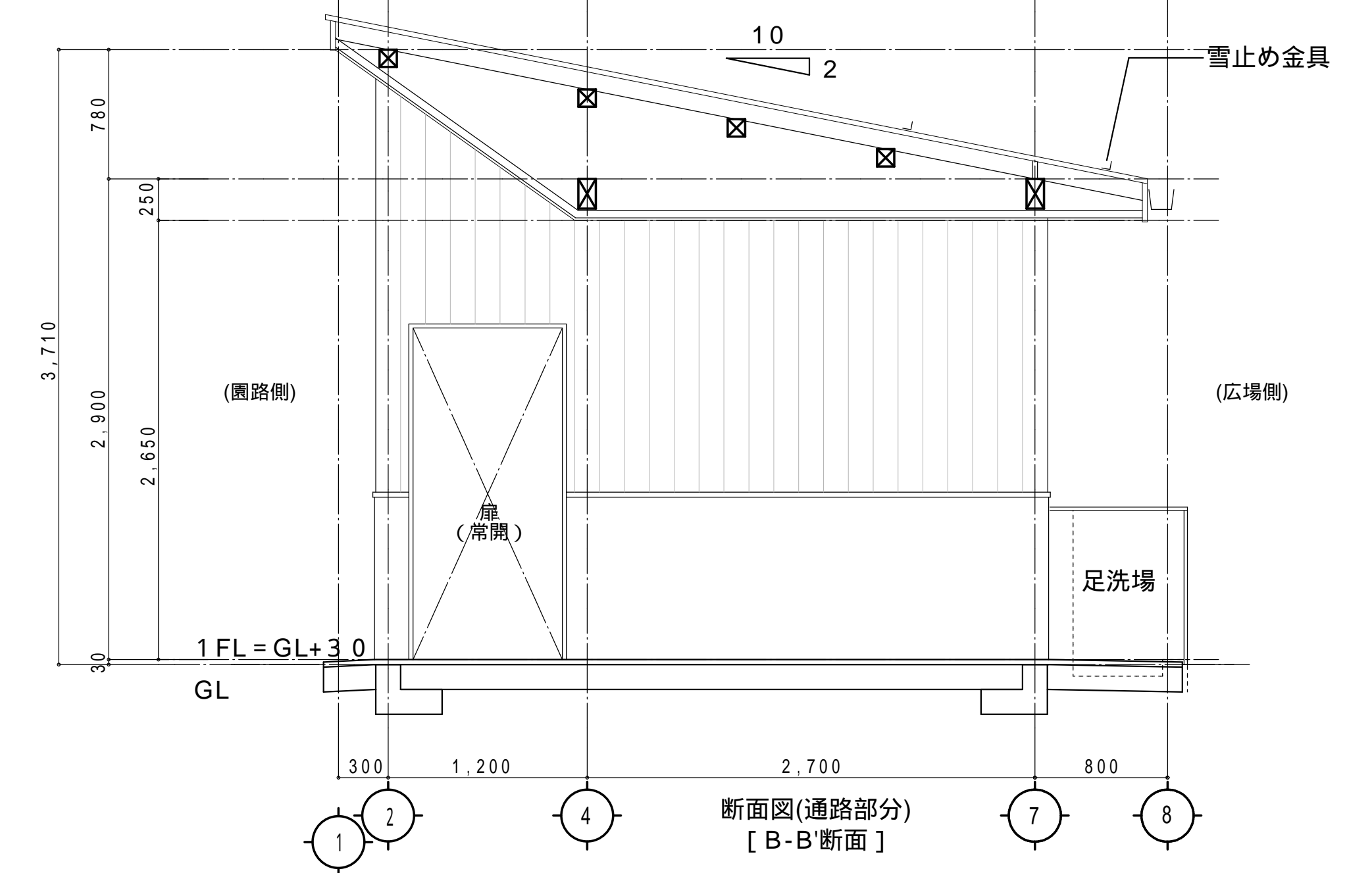
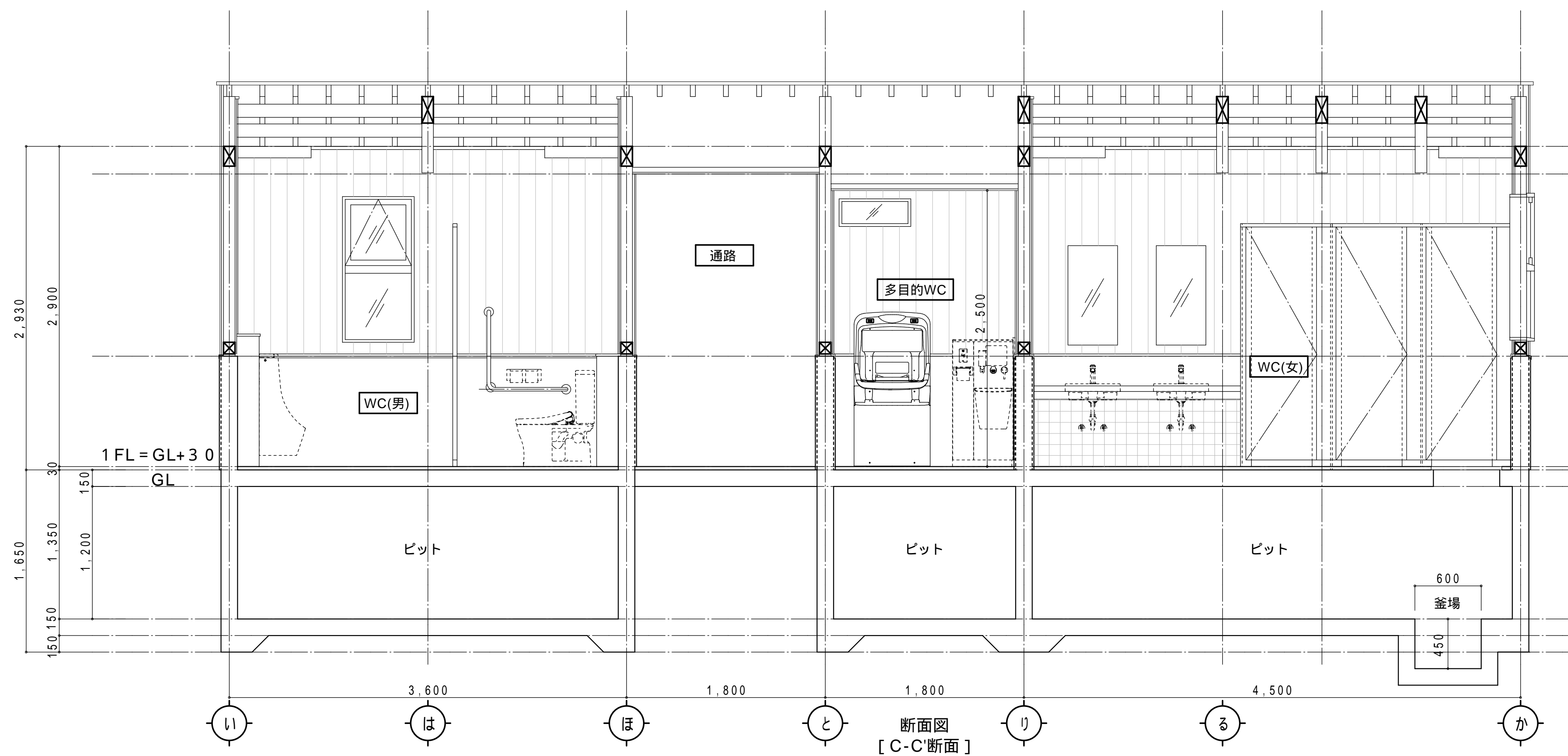
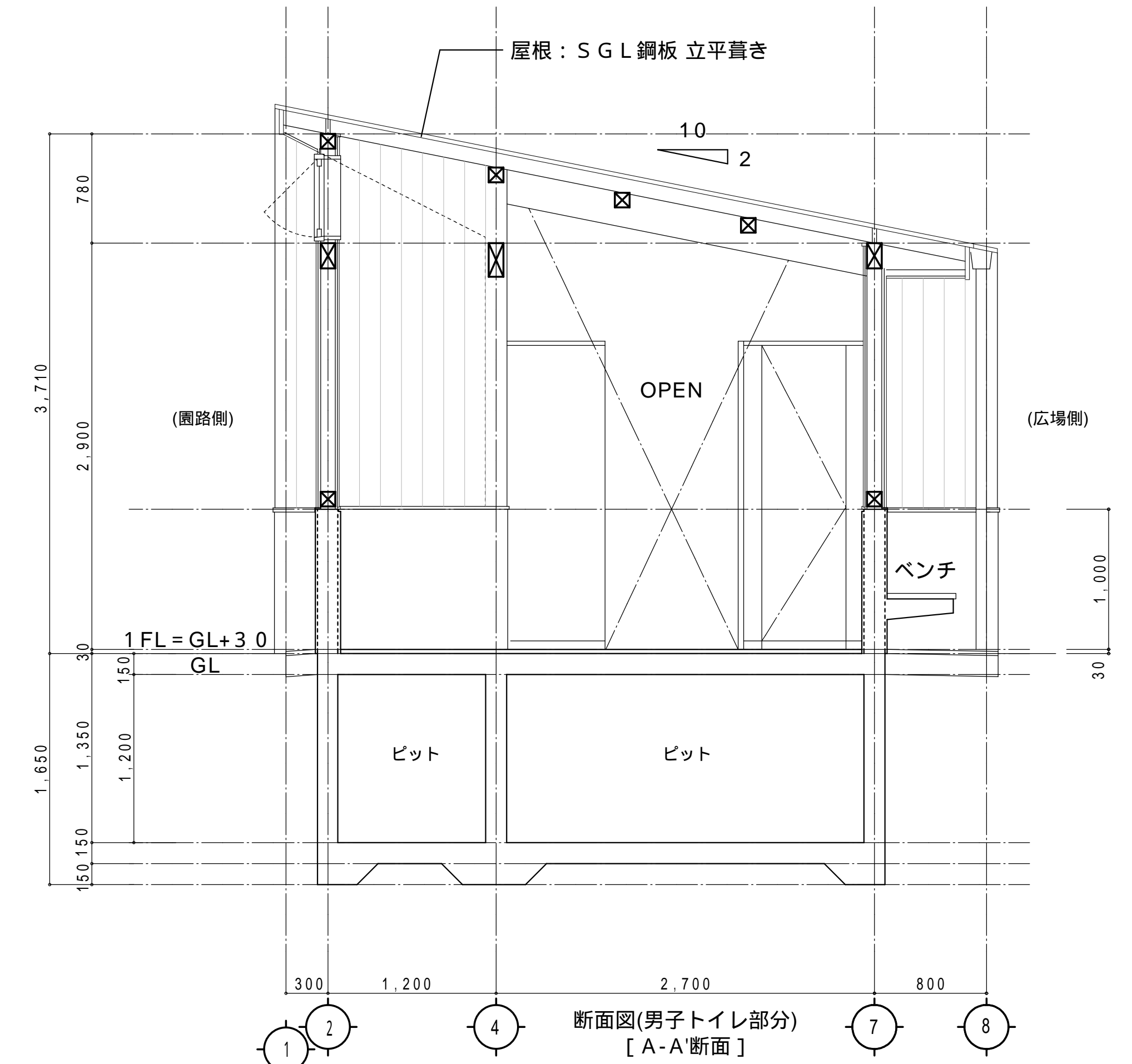
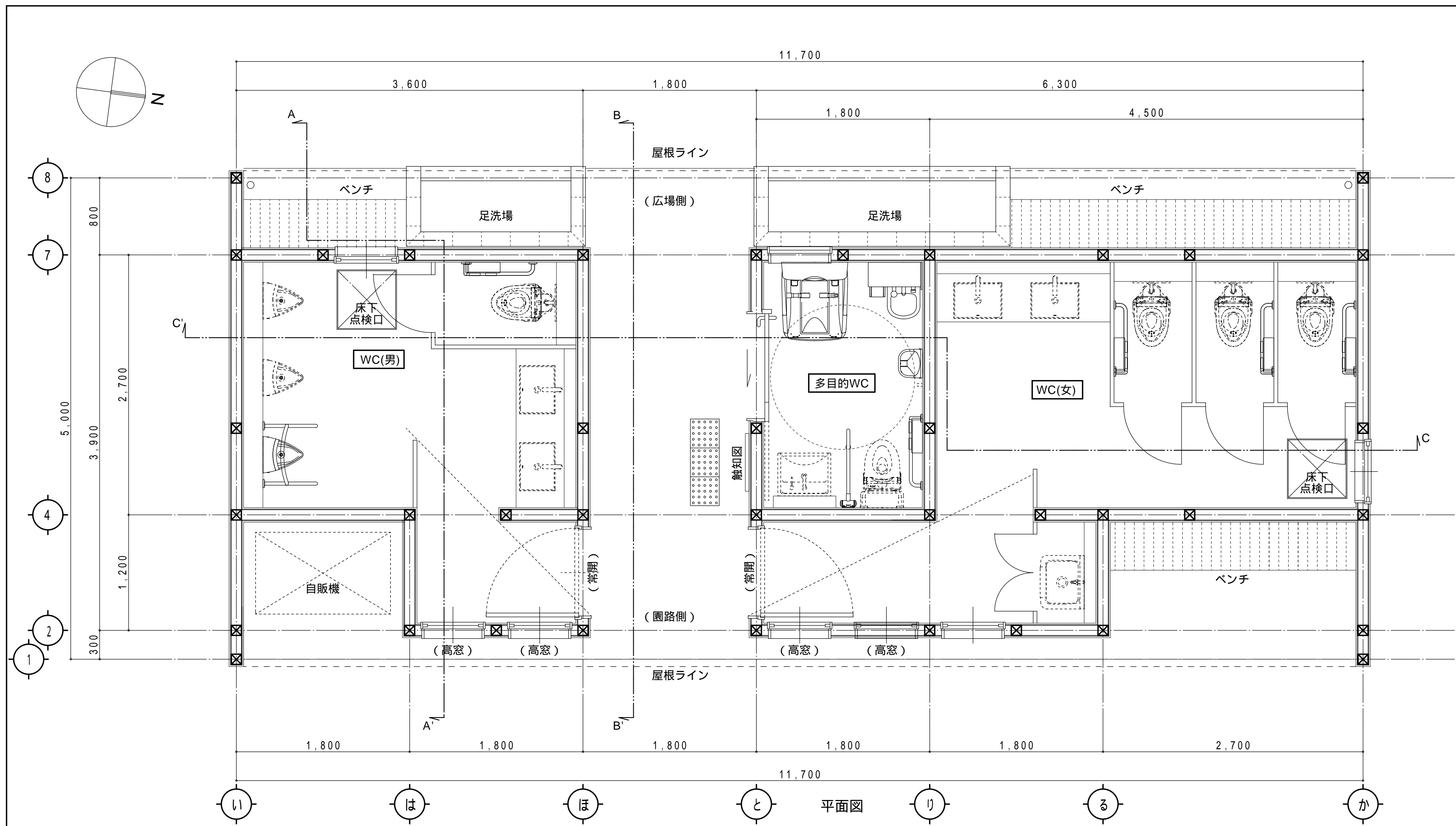






ピット 平面図 S = 1 / 30

ピット内壁、床：ケイ酸質系塗布防水2回塗り、RC下地



3.60×5.00+6.30×5.0=49.50㎡

柱寸法は105角を基本とする。  
使用材料は県産材(杉)とする

山岸建築設計事務所  
Yamagishi Architects + Engineers

設計年月日  
2021.03

工事名  
木場湯公園東園地トイレ棟建設工事(建築)

図番  
A-09

一級建築士事務所  
一級建築士第33429号 山岸敬広

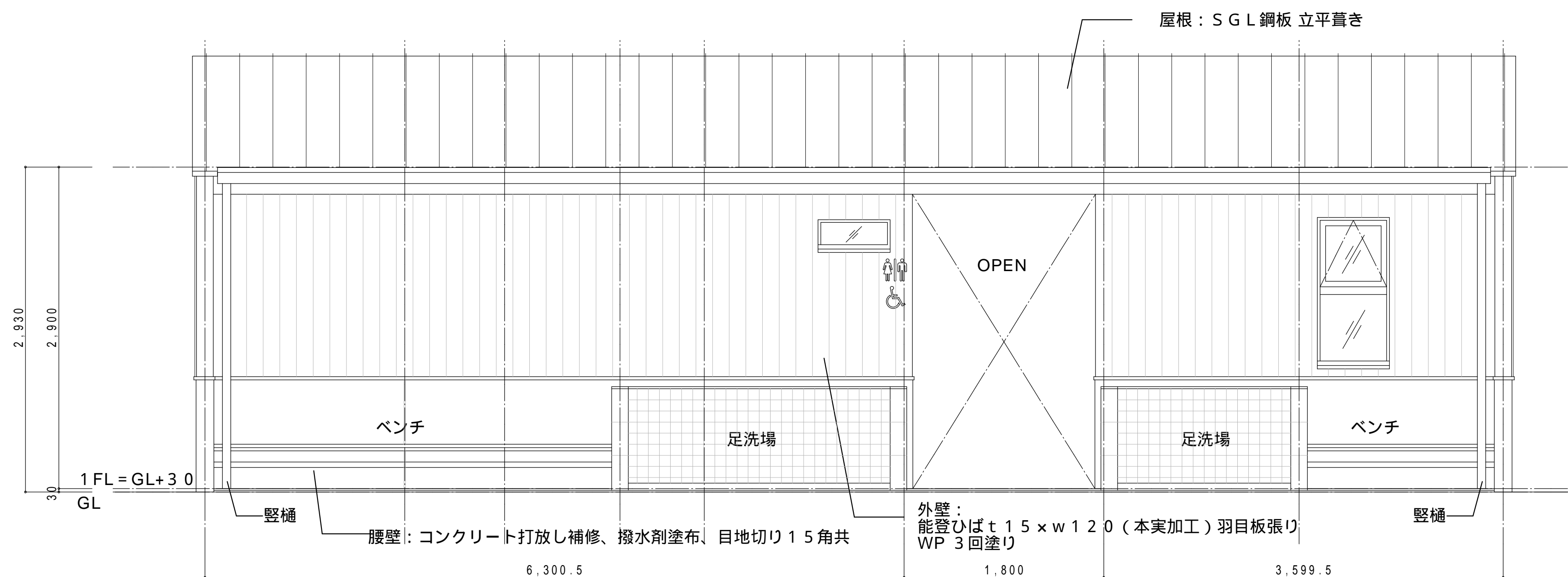
設計  
製図  
訂正

巻番  
2034

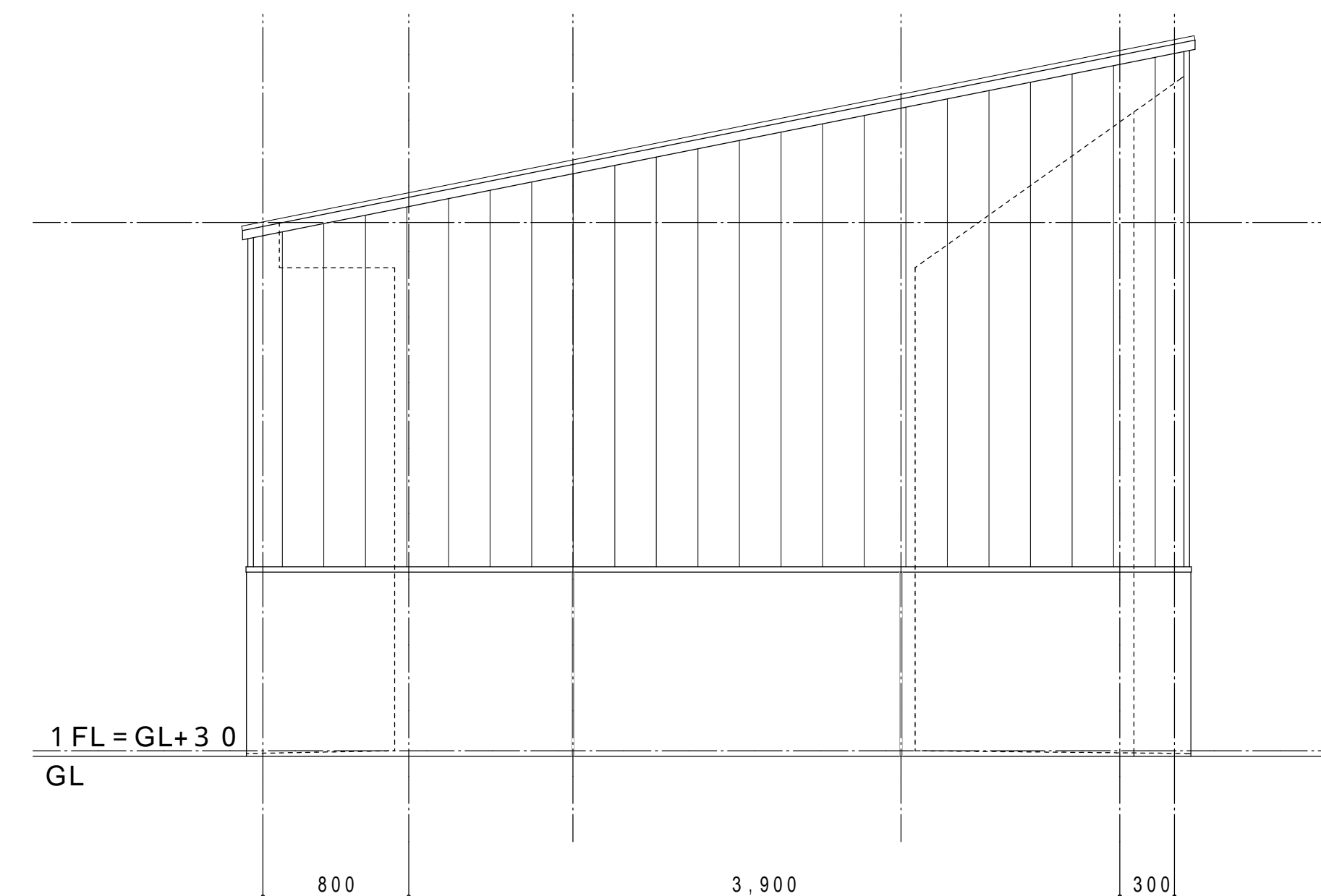
標題  
平面図・断面図

縮尺  
A1=1:30  
A3=1:60

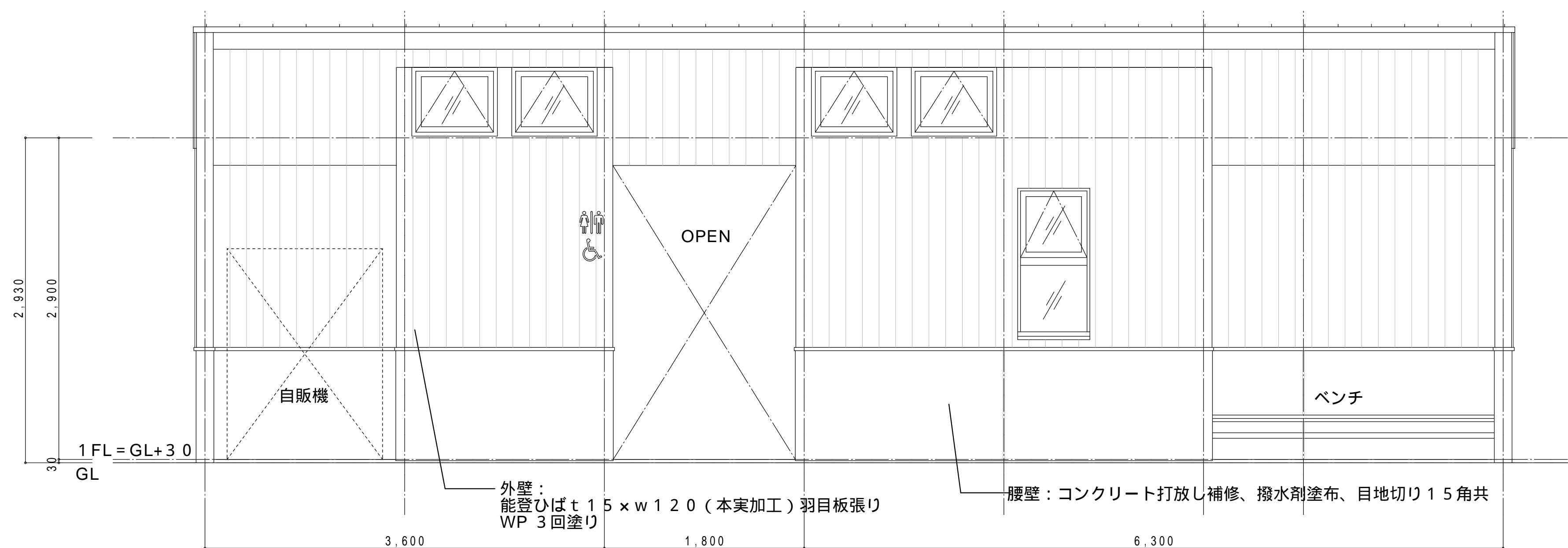




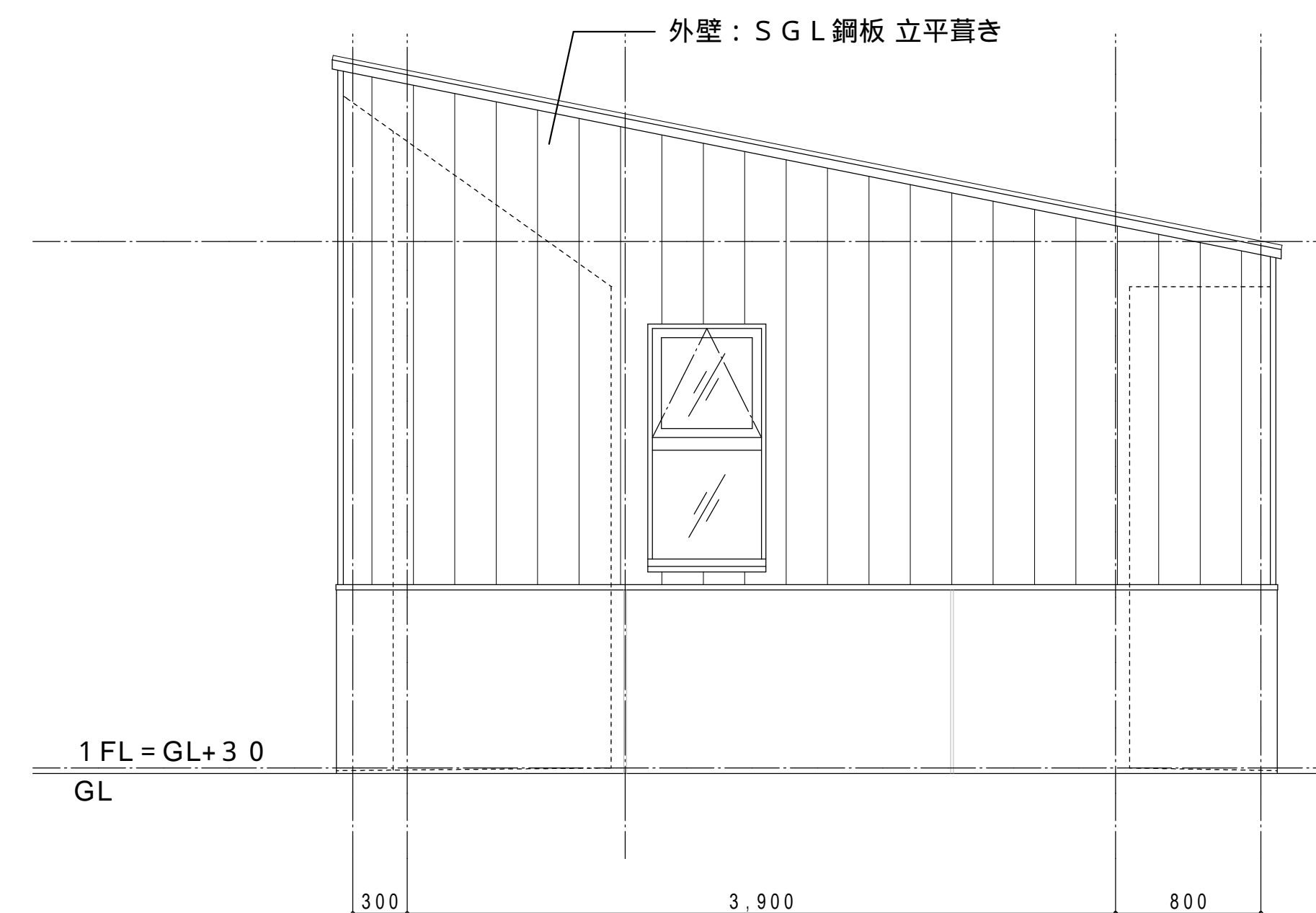
立面図(広場側)




立面図(男子トイレ側)

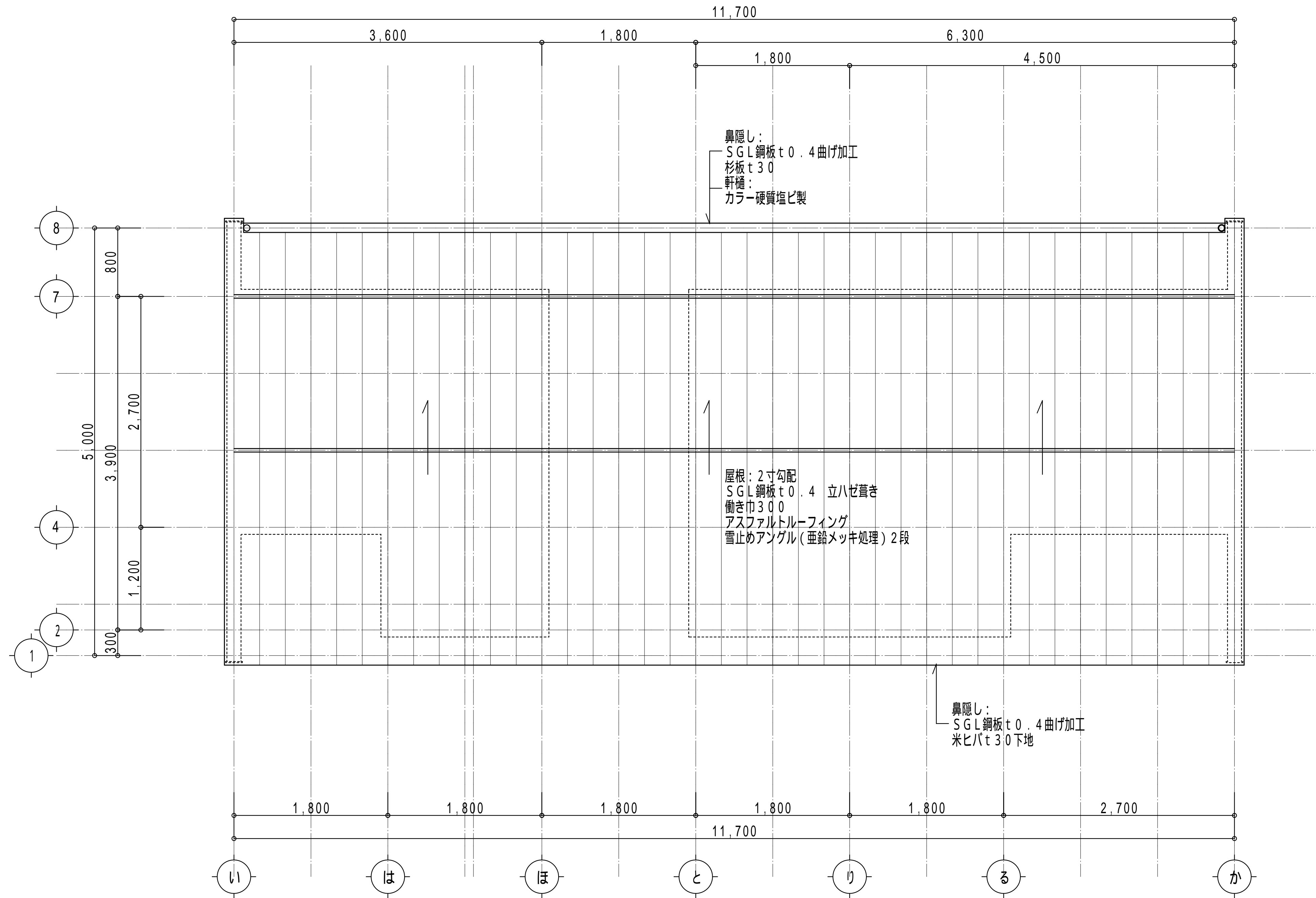
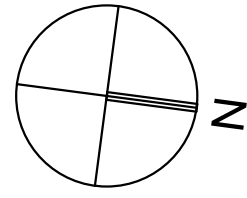


立面図(園路側)



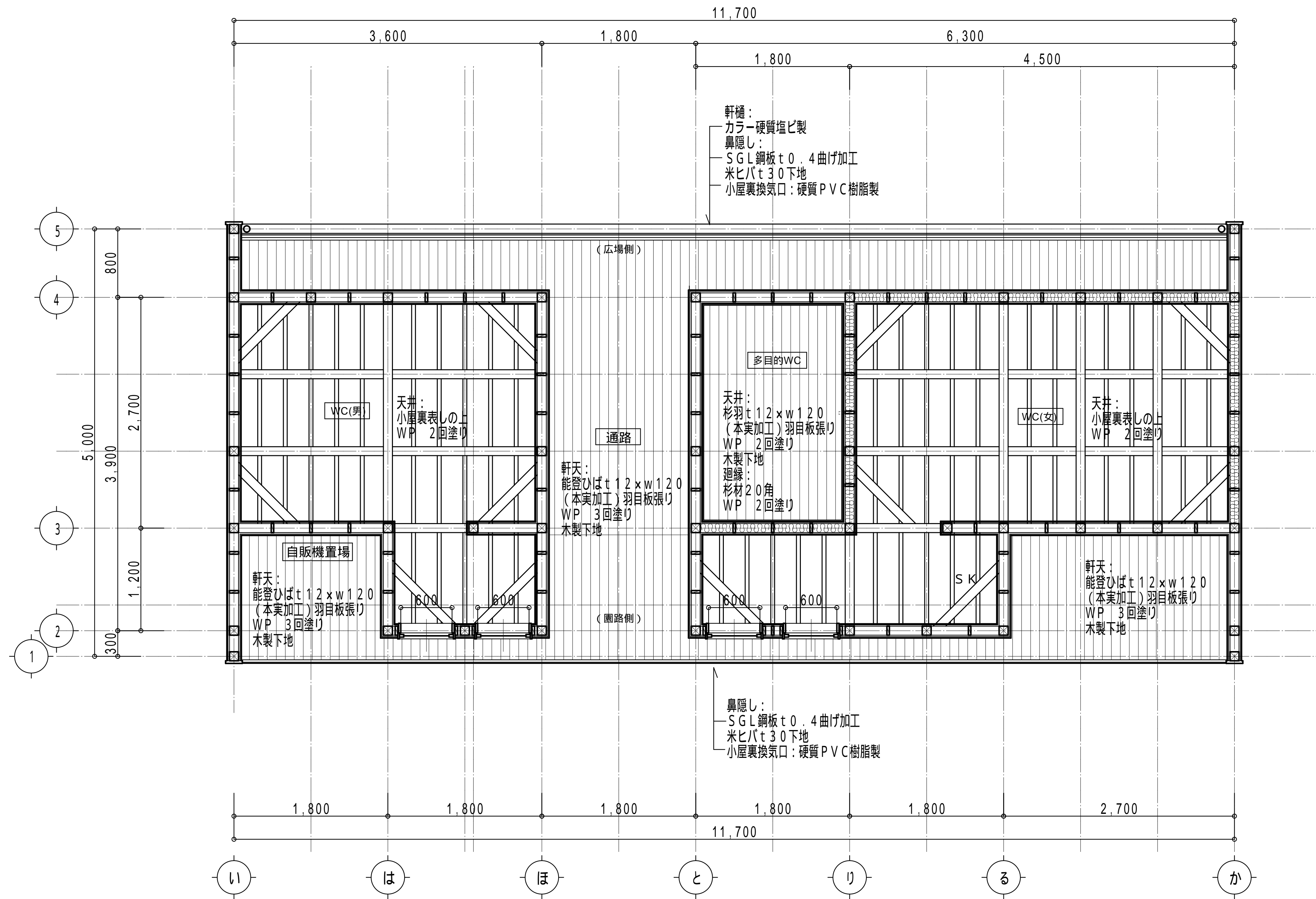
立面図(女子トイレ側)

 山岸建築設計事務所 Yamagishi Architects + Engineers	設計年月日	2021.03	工事名	木場湯公園東園地トイレ棟建設工事(建築)	図番	A-10
	一級建築士事務所 一級建築士第338429号 山岸敬広	設計	製図	訂正	巻番 2034	標題 立面図



屋根伏図 S = 1 / 30

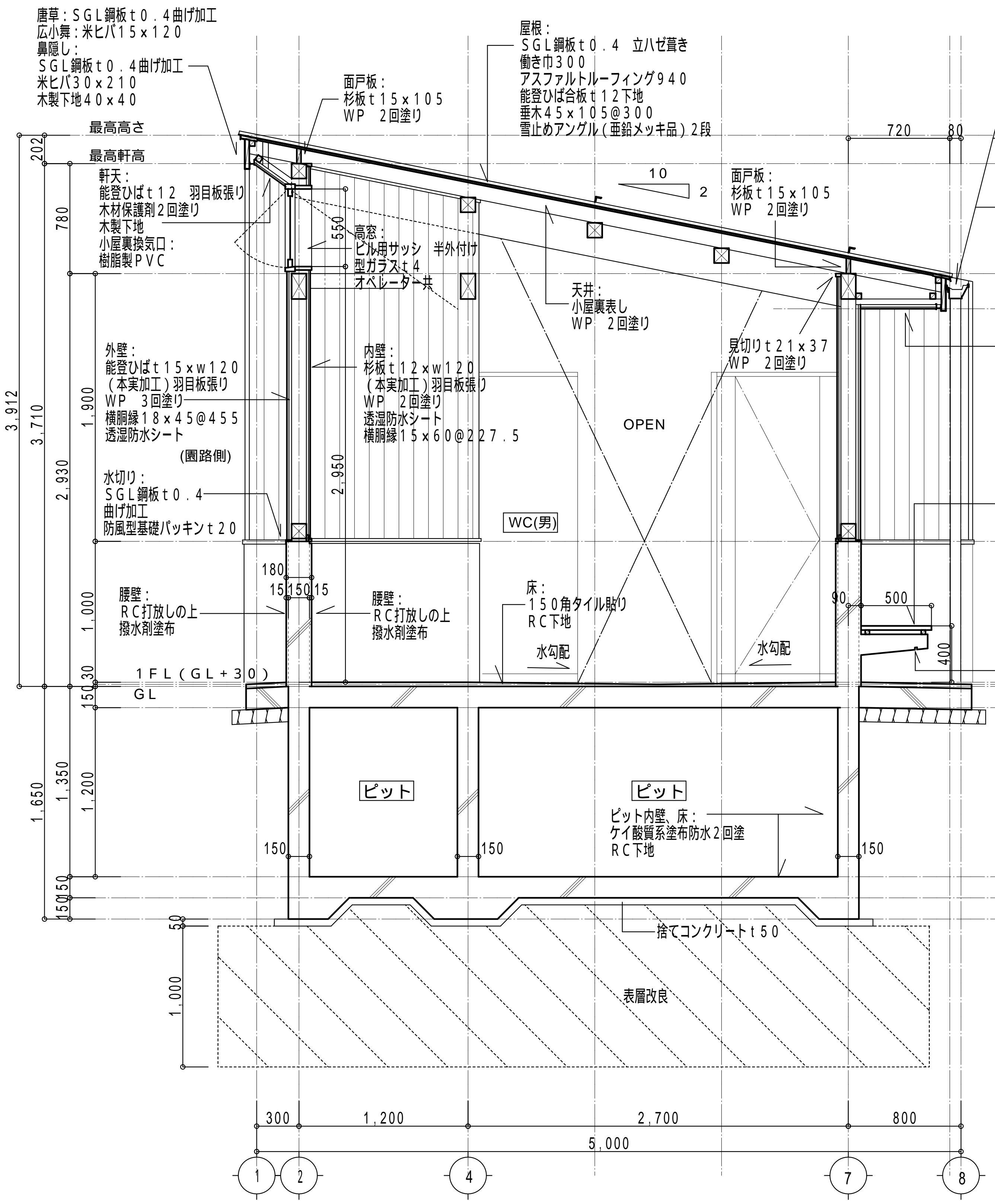




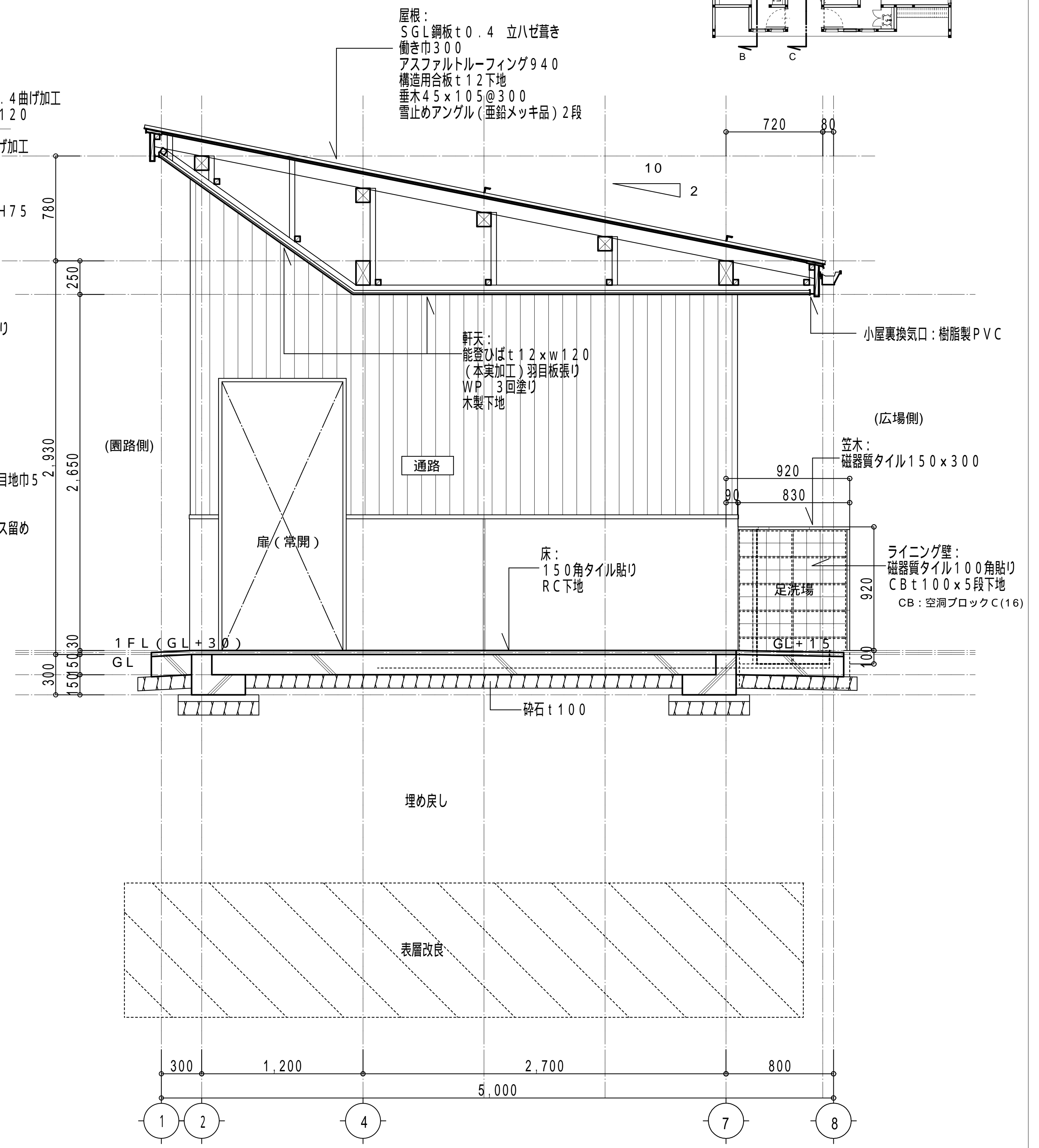
天井伏図 S = 1 / 30



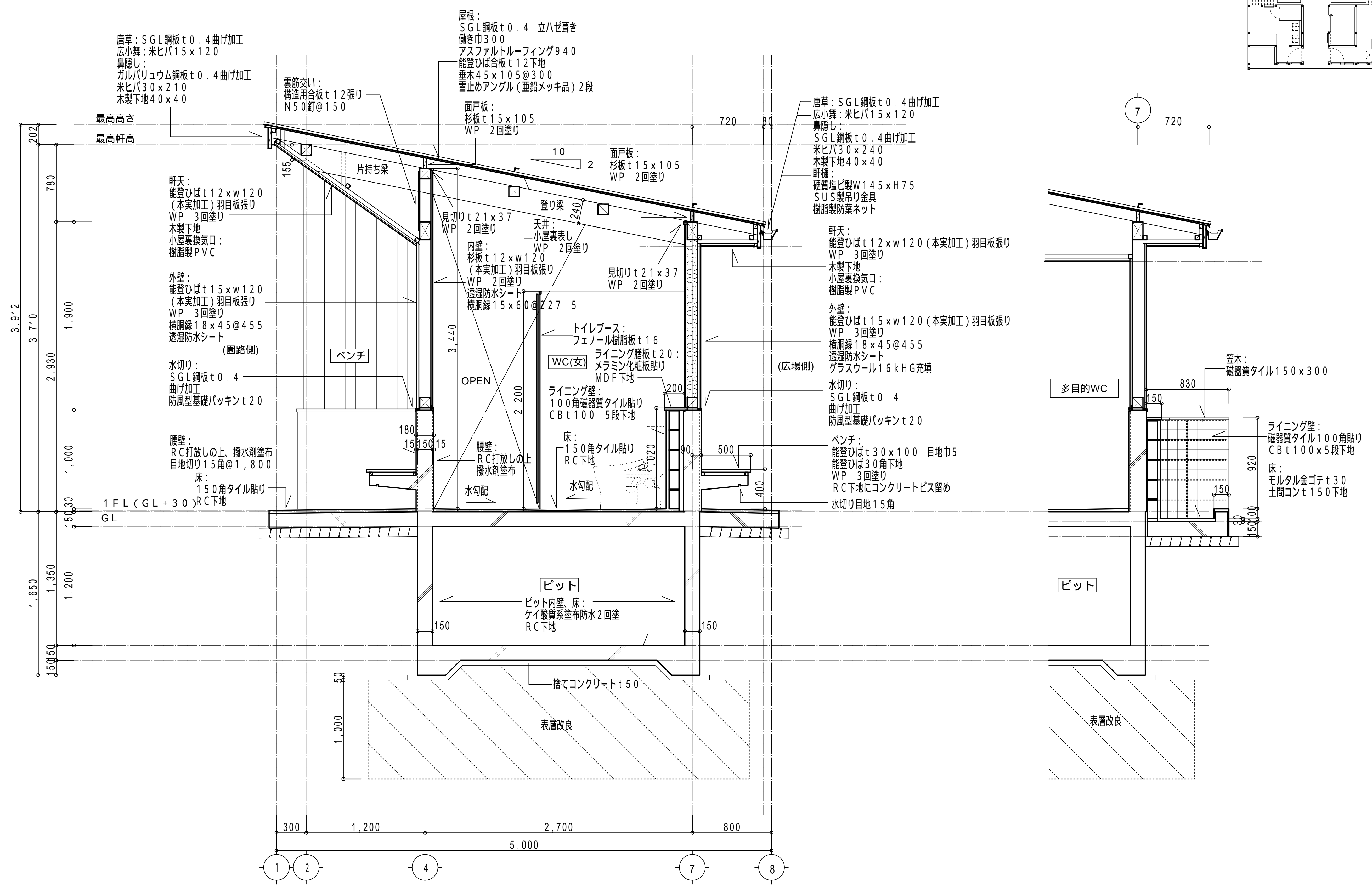
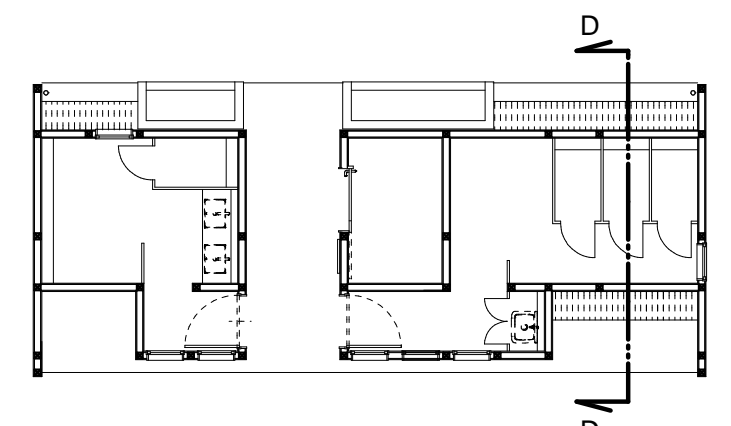




B ~ B 矩計図 S = 1 / 20

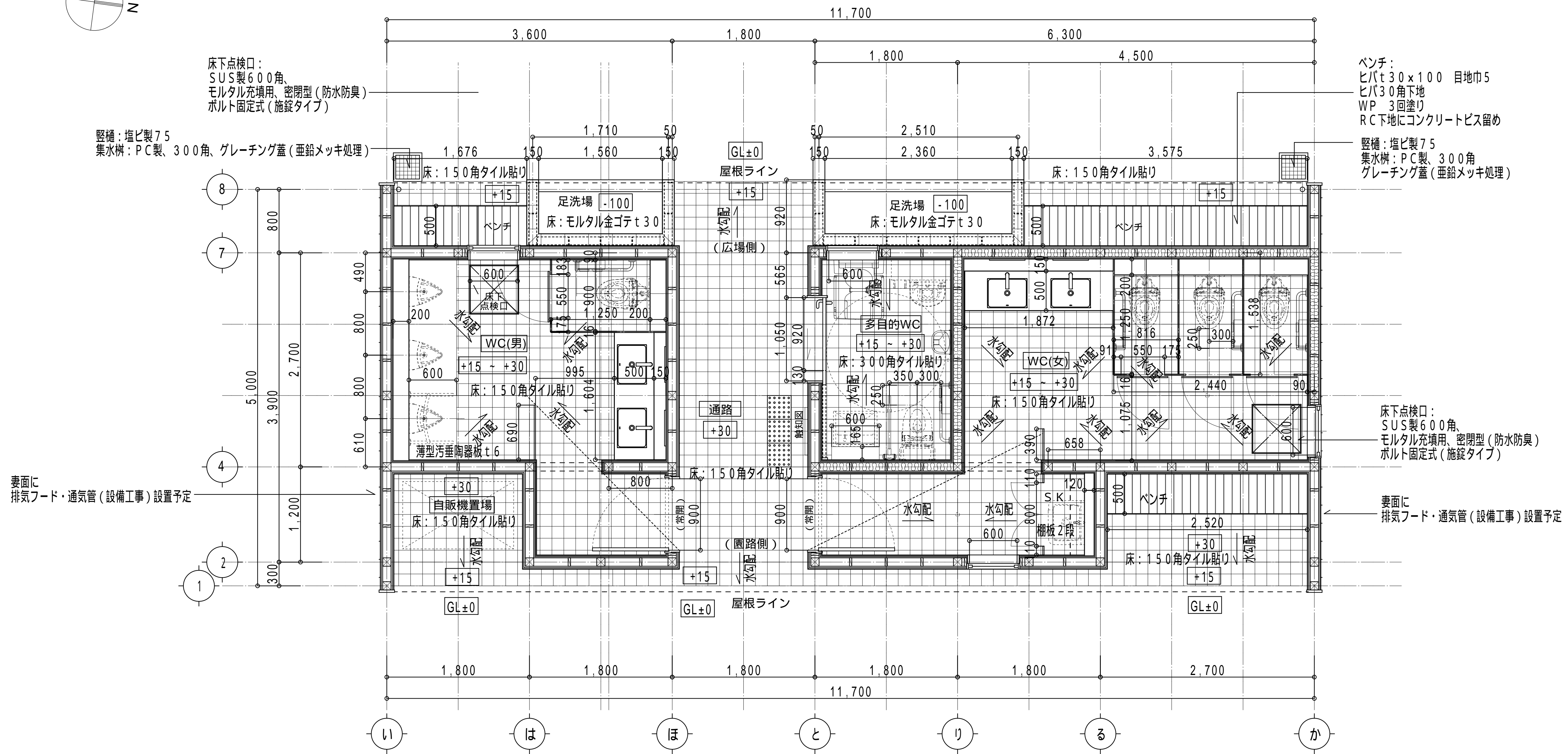
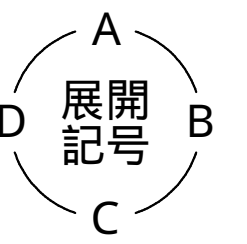
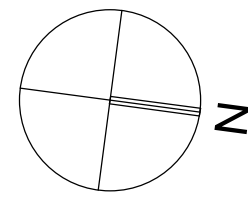


C ~ C 矩計図 S = 1 / 20



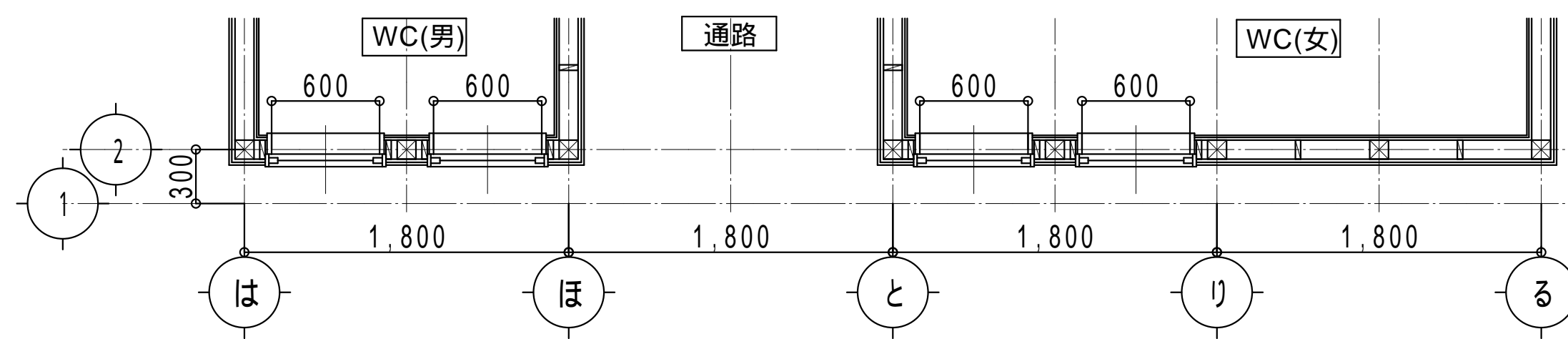
D-D 矩計図 S = 1 / 20

足洗い場 矩計図 S = 1 / 20

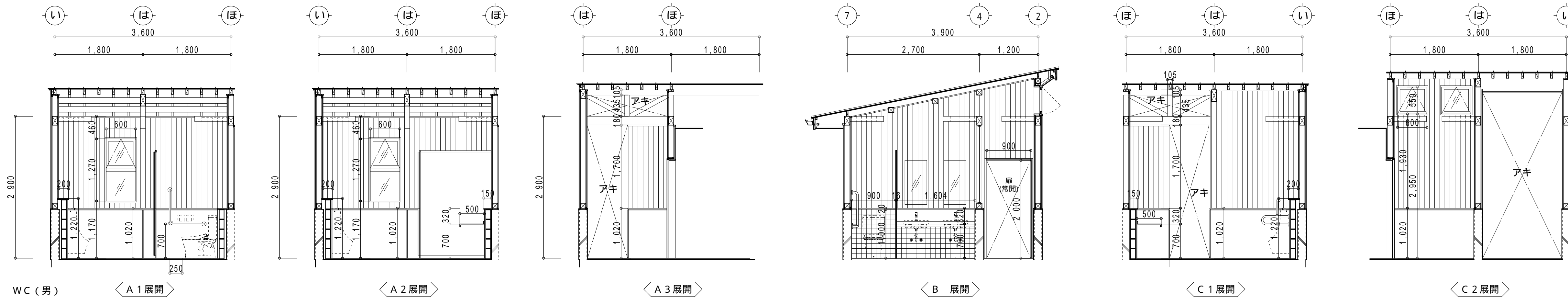


平面詳細図 S = 1 / 30

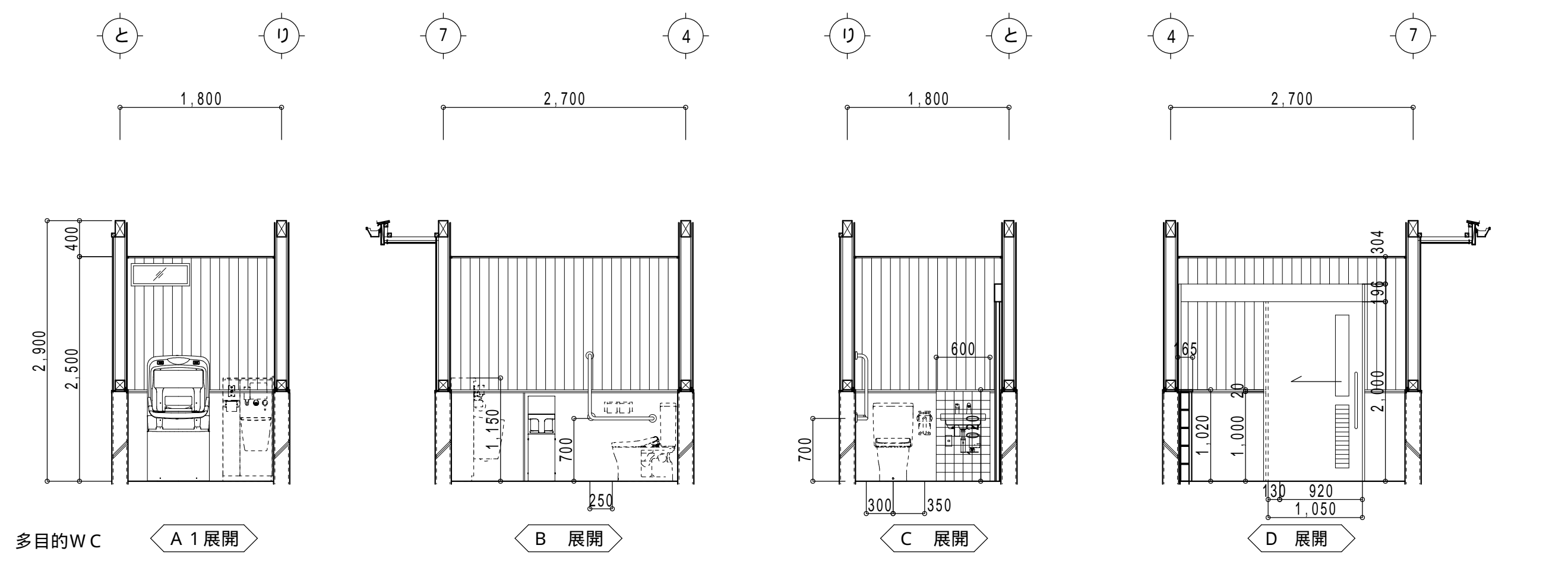
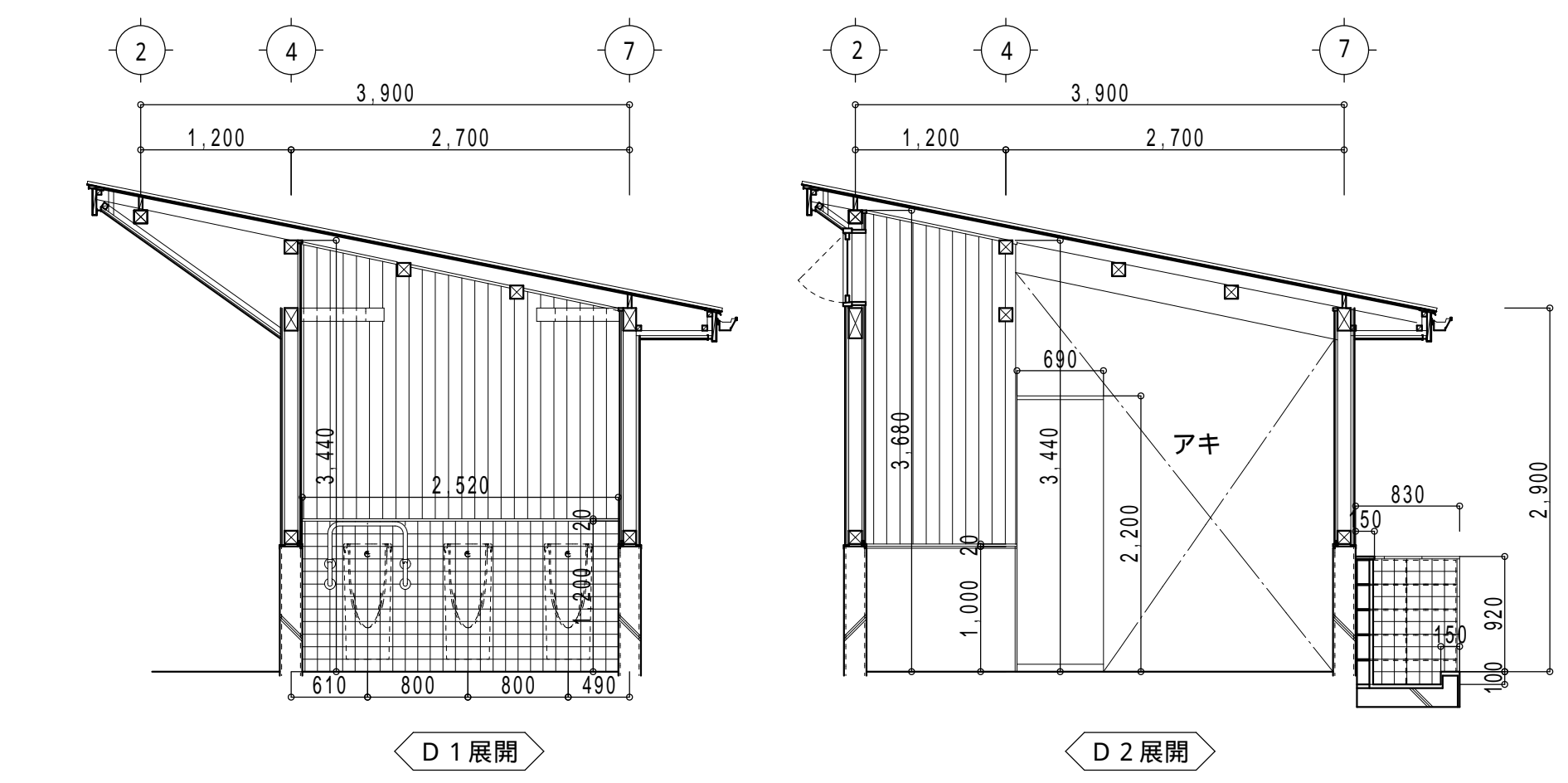
壁内に高性能グラスウール16kHG t100を充填すること。



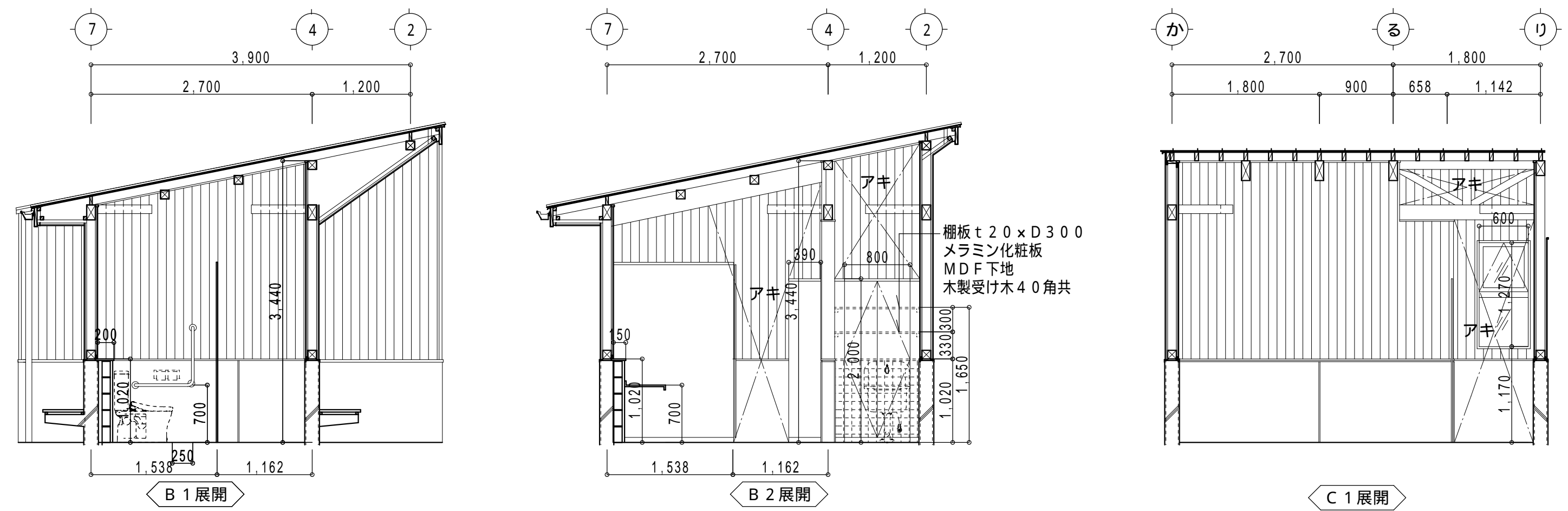
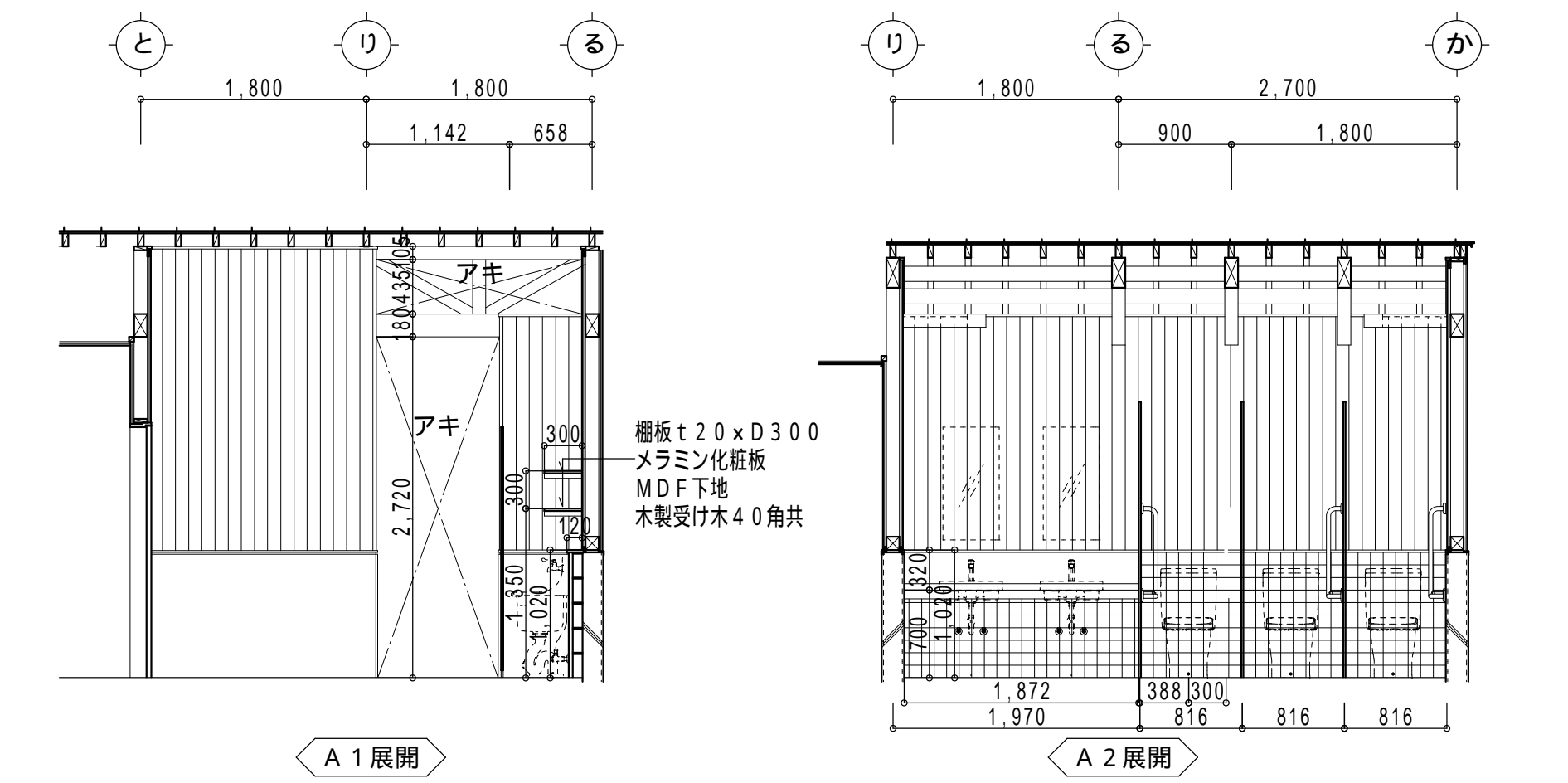
高窓 平面詳細図 S = 1 / 30



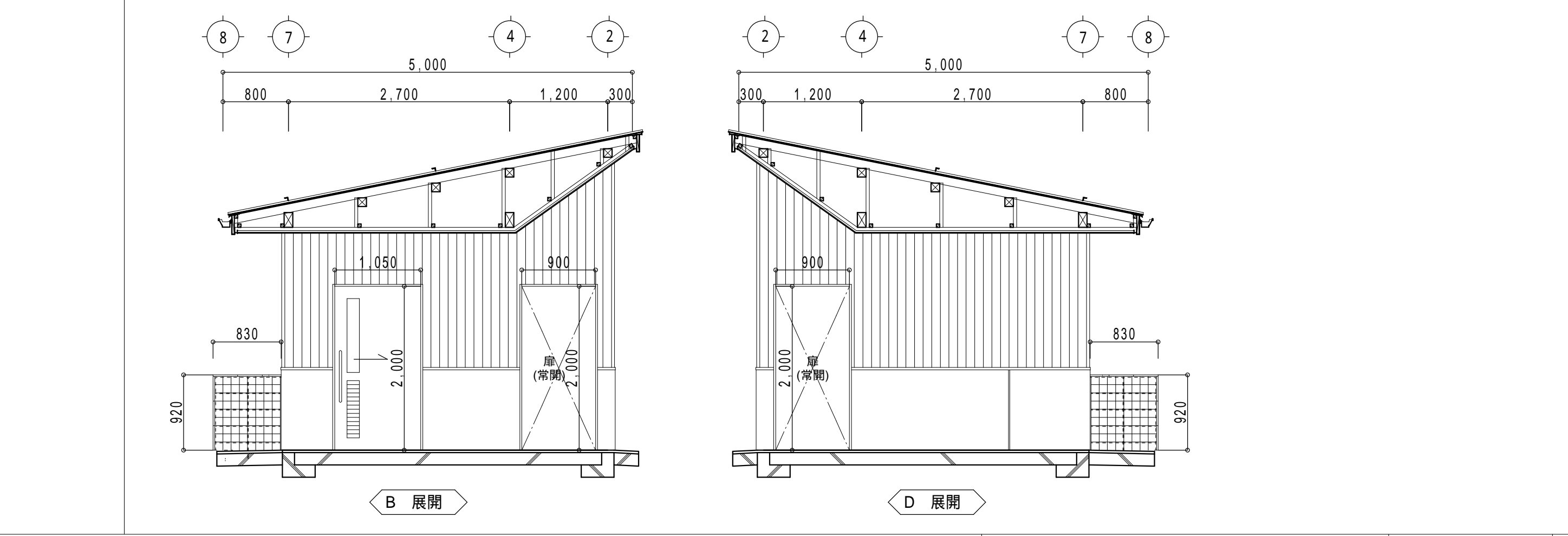
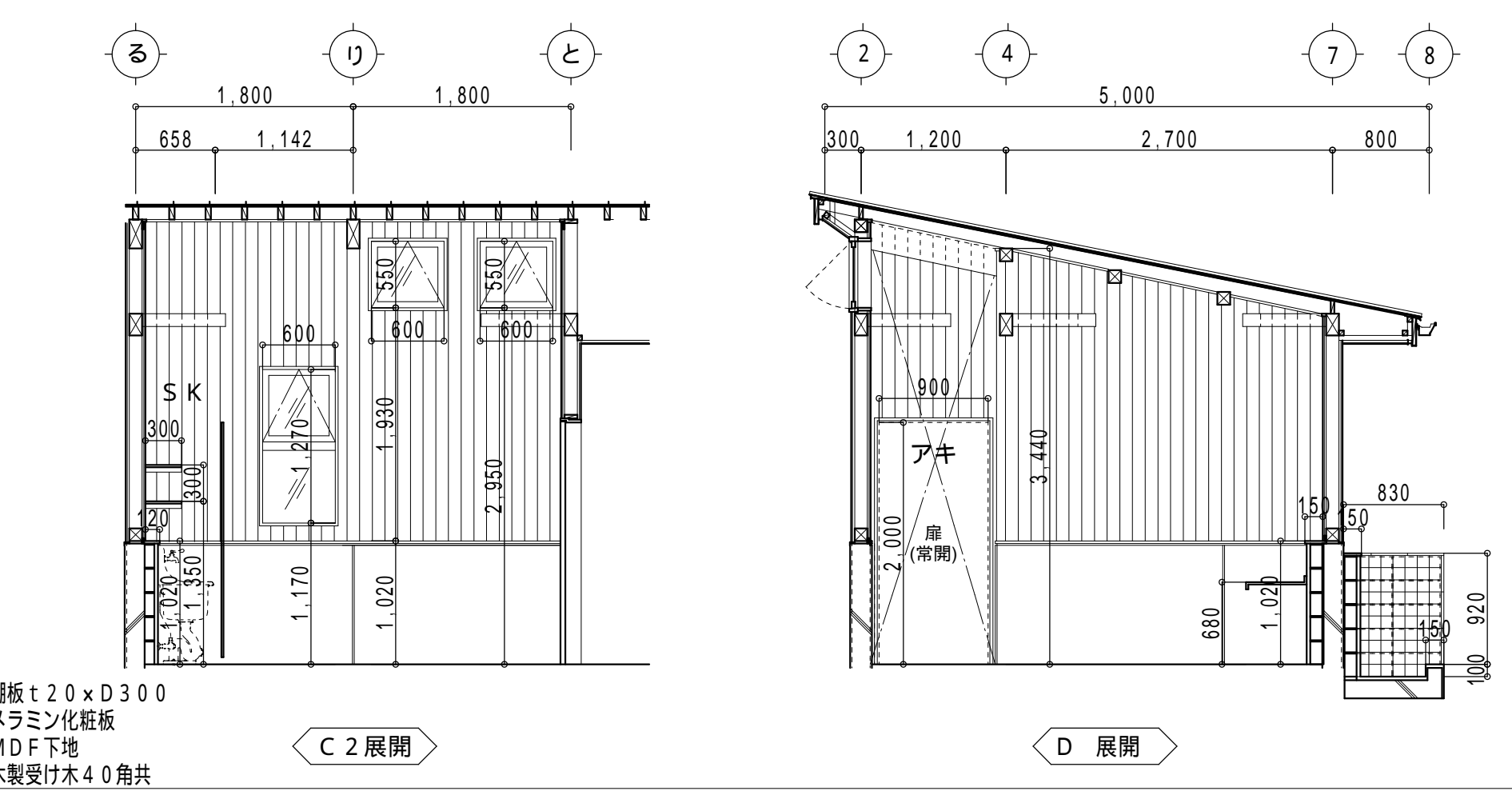
内装仕上げ	
室名	WC (男)
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	
天井	小屋裏表し、WP 2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り 膳板 t20 x 150、200 メラミン化粧板貼り MDF下地



内装仕上げ	
室名	多目的WC
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	杉15角、WP 2回塗り
天井	杉 t12 羽目板張り 木製下地 木材保護剤2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り 膳板 t20 x 165 メラミン化粧板貼り MDF下地

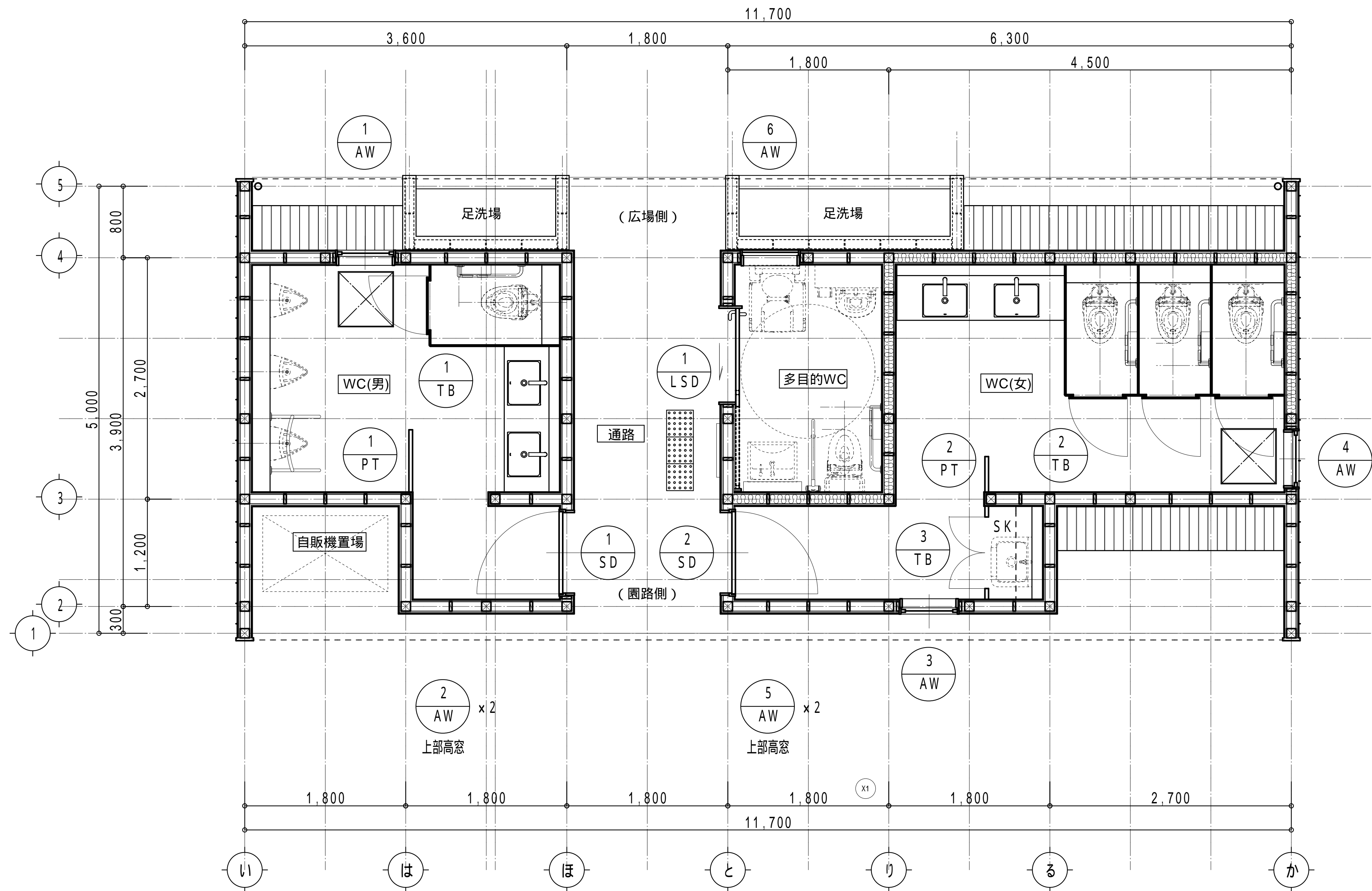
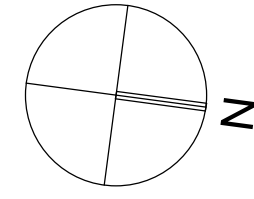


内装仕上げ	
室名	WC (女)
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、杉板 t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 2回塗り
廻縁	杉15角、WP 2回塗り
天井	小屋裏表し、WP 2回塗り
備考	ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り CBt100積み 膳板 t20 x 150、200 メラミン化粧板貼り MDF下地 ライニング壁 (SK)： 100角磁器質タイル貼り CBt80積み 膳板 t20 x 120 メラミン化粧板貼り MDF下地



内装仕上げ	
室名	通路
床	150角磁器質タイル貼り
巾木	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
腰壁	RC打放しの上、撥水剤塗布、目地切り15角共
壁	胴縁組の上、能登ひば t15 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 3回塗り
廻縁	
軒天	能登ひば t12 x w120 (本実加工) 羽目板張り、WP 3回塗り
備考	足洗い場 ライニング壁： 100角磁器質タイル貼り CBt100積み下地 笠木 磁器質タイル150 x 300





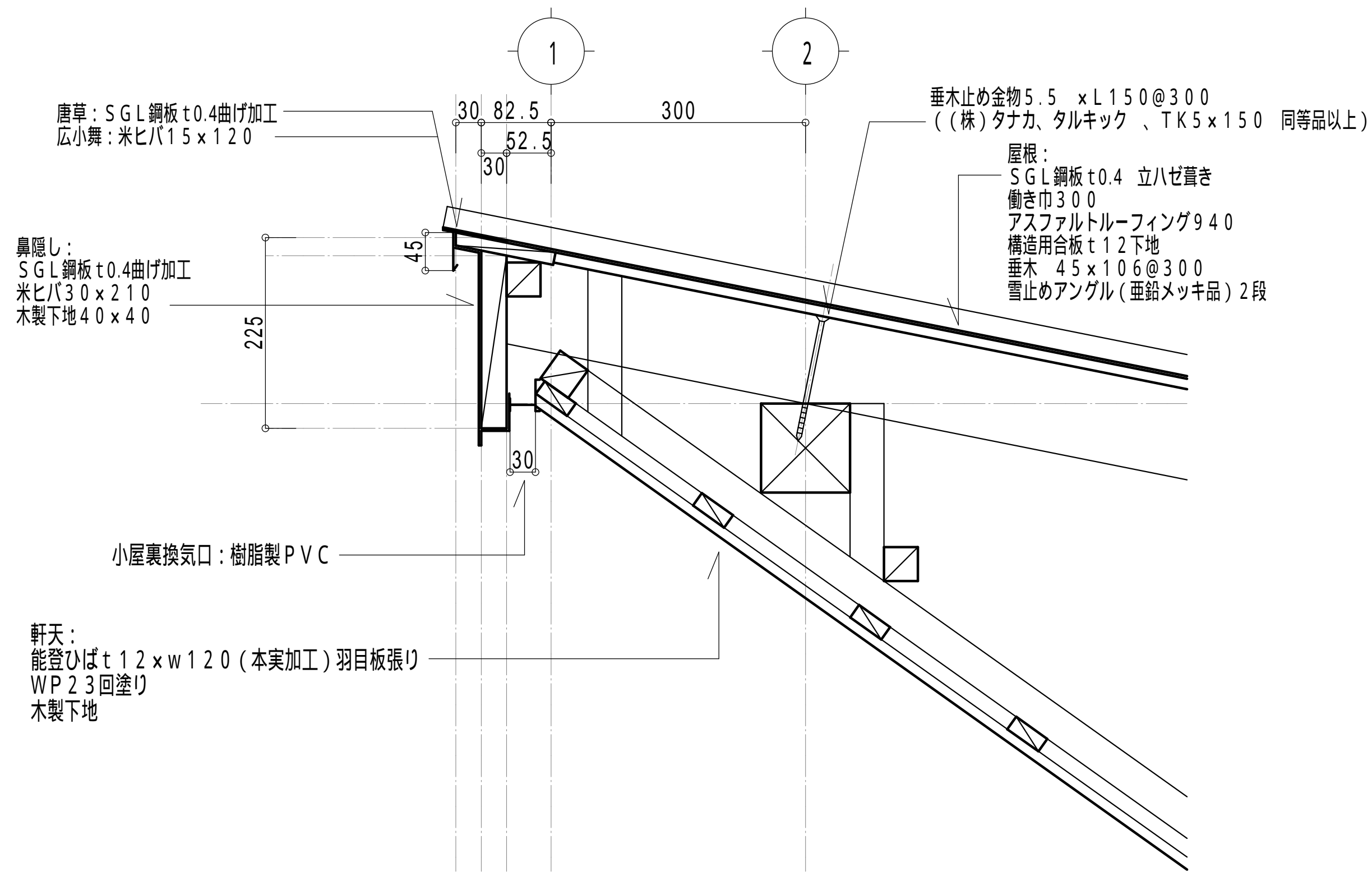
建具キープラン S = 1 / 30

凡例及び特記事項	
	アルミ製建具：ビル用サッシ 高窓オペレーター操作装置位置 (FL+1, 200)
	スチール製建具
	軽量スチール製建具
	トイレブース 伊藤忠 同等品以上 メラミン系フェノール樹脂板 コーナーR型シール
	トイレブース 伊藤忠 同等品以上 メラミン系フェノール樹脂板 コーナーR型シール

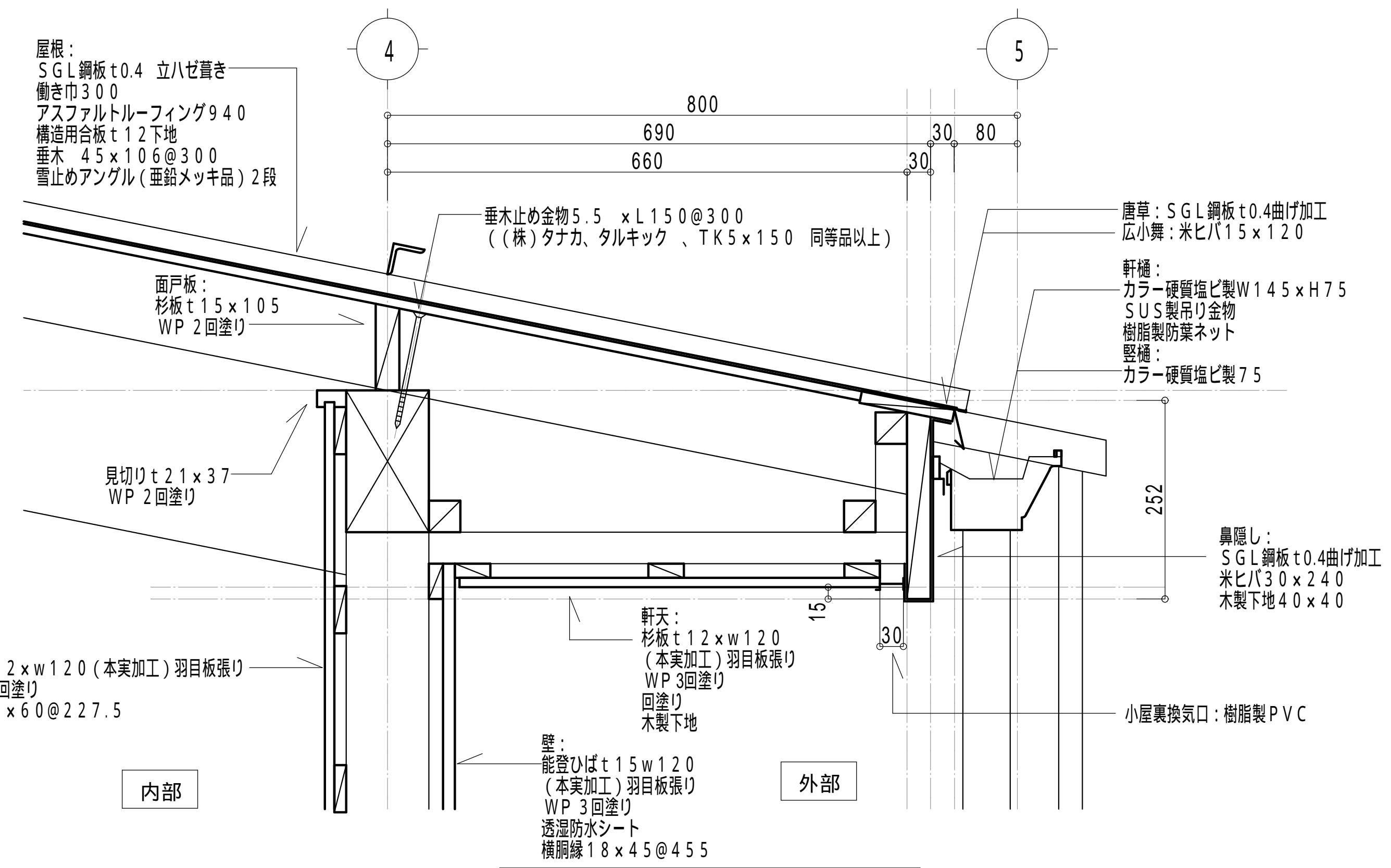
表示略号				枠の標準形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				扉厚寸法 (扉厚は下記強度基準及び召し合せ部の形状の他、金物の納まり等を考慮して決定するものとする)						
種類	見込みの大きさによる種類			形状による種類			SD及びSSD	40mm (扉面積 2.5㎡)			45mm (扉面積 3.0㎡)			
	大枠	小枠	普通枠	FB枠	特殊枠	WD		36mm (H=1800mm未満、扉一枚の幅=900mm以下)	LD	40mm (H=2400mm未満、扉一枚の幅=900mm以下)	H	36mm	P	24mm (戸ふすまは30mm)
A D	アルミ製扉	S G	鋼製ガラリ	P	透明フロートガラス									
A G	アルミ製窓	S S G	ステンレス製ガラリ	F	型板ガラス									
A W	アルミ製ガラリ	W G	木製ガラリ	F W	網入フロートガラス									
A C W	アルミカーテンウォール	S S	鋼製シャッター	P W	網入型ガラス									
A T P	アルミトップライト	S S H	ステンレス製シャッター	T	強化ガラス									
S D	鋼製扉 (1.6mm以上)	F S	シート(不燃布)製シャッター	D S	倍強度ガラス									
S W	鋼製窓	G S B	ガラス製固定防煙垂れ壁	H R	熱線反射ガラス									
S S D	ステンレス製扉	F S B	シート製巻き込み防煙垂れ壁	H A P	熱線吸収フロートガラス									
S S W	ステンレス製窓	S	鋼製三方枠(扉なし開口部)	H A R	熱線吸収反射ガラス									
S W D	鋼製枠木製扉	S L W	スライディングウォール	Low-E	Low- ガラス									
S W W	鋼製枠木製障子窓	S F	鋼製枠	G B	ガラスブロック									
L S D	鋼製軽量扉 (0.8mm以上)	S P T	鋼製パーテーション	耐熱	耐熱強化ガラス (特)									
O H D	オーバーヘッドドア	C S S	シートシャッター	耐熱 G B	耐熱ガラスブロック (特)									
S H D	鋼製ハンガードア	T B	トイレブスク		(特): 特定防火設備用認定品									
H	ふすま				金物									
P	紙障子				PH	ピボットヒンジ								
W D	木製扉				D C	ドアクローザー								
W W	木製窓				O P R	オペレーター								
建具の性能と記号				建具記号				標準事項						
(特) 特定防火設備 (常時閉鎖式) (特) 特定防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) (防) 防火設備 (常時閉鎖式) (防) 防火設備 (随時閉鎖式、煙感知器連動) < 令112条第14項第一号・二号適合 >				建具の種類記号 # 建具の防火性能記号 整理番号				・ 建具は詳細部の施工図作成の上、設計者の承認を受けること。 ・ 建具金物は見本品提出の上、設計者の承認を受けること。 ・ ドアチェックはバラレ型とする。室外側にドアチェックが取り付けられる場合は監視者と協議の上決定する。 ・ ドアチェックはストッパー付きを原則とする。但し防火区画上の防火扉はストッパー無しとする。 ・ 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とする。 ・ 鉄部の仕上げは特記以外は内部をSOP、外部に面するものをフッ素樹脂塗装とする。 ・ 特記なき限り、鋼製扉の番摺はSUS304 ( t - 2.0mm, t - 1.5mm) 製とし、内部をモルタル充填とする。 ・ アルミサッシの附属金物は原則としてサッシと同色同仕上とする。 ・ 窓開口部には原則として結露受 (サッシと同材、同仕上) を取り付けること。 ・ 排煙用オペレーター装置はワンタッチ式とする。 ・ オペレーター装置の配線、配管及びボックスは埋込型とする。 ・ オペレーター装置の清拭及びワイヤーは室内から見えないよう納める。 ・ 排煙窓の自動開放装置 (クレセント及び操作レバー類を含む) の位置は床面から800mm H 1500mmとする。 ・ 排煙突出し窓及び排煙用ATPの開き角度は45°以上とする。 ・ 防火扉及び延焼範囲内の扉/壁に付くDG/ガラリはヒューズダンパー付きとする。 ・ 特記なき限り鋼製建具のガラリはt-1.6とする。 ・ 外部に面するガラリはSUS製防鳥金網ネット (# 16 x 10mm程度) を取り付け。 ・ ダクト接続のガラリには四方枠 (垂鉛メッキ鋼板 t 2.3加工、外部に面する場合はフッ素樹脂塗装、室内の場合はSOP) を取り付け、四方枠廻りを断熱材吹き付けとする。 ・ シャッターは全て安全装置付きとする。 ・ シャッター及び昇降式防煙垂壁は特記以外電動昇降装置付きとする。 ・ 電動シャッターは手動併用、防火/防煙/防火防煙シャッターは手動開閉装置付とする。 ・ 避難口となる風除室の自動扉は非常時手動開放可能な機構とする。 ・ 施設は原則として片面シリンドラ 片面サムターンとする。 ・ キーは全て耐ピンキック仕様 (財) 全国防犯協会連合会CP認定品とする。 ・ 熱吸/熱入/Low- /耐熱強化等のガラスは実サンプルにて色味の確認を行い、設計者の承認を得るものとする。 ・ 網入りガラスの小口は、トップライトの場合はプルテープ貼り、その他の場合は防錆塗装貼りとする。 ・ 両開扉及び親子開扉の防火扉は順位調整機構付とする。						
ガラリの形状				召合わせ部の形状 (特記なき限り○印の形状を採用する)				特記事項						
室内ガラリ ドアガラリ ドアガラリ (スリット型) 固定ガラリ FB化粧ガラリ 外部に面するガラリ				一般扉 吸収型防火扉 自由開扉				A T 産 S A T 産						
形状 開口率: 30 - 40% 開口率: 90 - 100% (特記なき限り・印の形状を採用する) 開口率: 40 - 60% 開口率: 30% 開口率: 30 - 40%				形状 扉厚4.5mm以上 注) 錠前の種類によっては5.0mm必要 扉厚4.5mm以上 注) 錠前の種類によっては5.0mm必要 扉厚5.5mm以上 注) 錠前の種類によっては7.0mm必要 扉厚5.5mm以上 注) 錠前の種類によっては6.0mm必要				・ 一般アルミサッシはRC枠+外縁縁【YKK AP エクシマ31同等品、詳細図参照】とする ・ 外壁裏面現し建具取付部分は建具枠と胴縁間をアルミt2.0もしくはスチールPL t2.3塞ぎを設ける ・ 外部アルミサッシ水切りには立上り付き小口フタを設けて外壁雨タレ防止対策を施す ・ オペレーターは隠蔽タイプ、過負荷防止機能付とし、取り付け芯高さH=1200とする ・ 網戸はガラスファイバー製 (黒) とする ・ 収納式網戸はロール式とする ・ 外部に面する飛散防止フィルムの厚みは消防有無認定に適合するもの (厚100µm以下) とする ・ 仕入り窓の開放角度は90°以上、突き出し窓の開放角度は45°以上とする。						

符号・数量	① SD × 1	② SD × 1	① LSD × 1	① AW × 1	② AW × 2	③ AW × 1	④ AW × 1	⑤ AW × 2	
図									
場所・防火仕様	WC (男)	WC (女)	多目的WC	WC (男)	WC (男)	WC (女)	WC (女)	WC (女)	
材種・見込	表面処理鋼板 t1.6 焼付塗装 (指定色) / 40	表面処理鋼板 t1.6 焼付塗装 (指定色) / 40	表面処理鋼板 t1.6 焼付塗装 (指定色) / 40	アルミ / 70	アルミ / 70	アルミ / 70	アルミ / 70	アルミ / 70	
勝手	片開き (常開)	片開き (常開)	ハンガー片引き戸	仕切り出し窓 + F I X 窓	仕切り出し窓	仕切り出し窓 + F I X 窓	仕切り出し窓 + F I X 窓	仕切り出し窓	
ガラス			型ガラス t 4.0	型ガラス t 4.0	型ガラス t 4.0	型ガラス t 4.0	型ガラス t 4.0	型ガラス t 4.0	
金物	取付金物一式、SUS製丁番、ケ-ムドノ、SUS製番摺 外シリンドラ錠、内シリンドラ錠、ドアロック、戸当り、ワッパ落とし	取付金物一式、SUS製丁番、ケ-ムドノ、SUS製番摺 外シリンドラ錠、内シリンドラ錠、ドアロック、戸当り、ワッパ落とし	駆動取付金物一式、SUS製引き棒 内大型サムターン (非常解錠表示付)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)	型ガラス t 4.0 高窓操作オペレーター装置 (隠ぺい型)
備考			アルミ製片山ガラリ (焼付塗装、指定色)	オペレーター装置設置位置FL + 1,500	オペレーター装置設置位置FL + 1,500	オペレーター装置設置位置FL + 1,500	オペレーター装置設置位置FL + 1,500	オペレーター装置設置位置FL + 1,500	

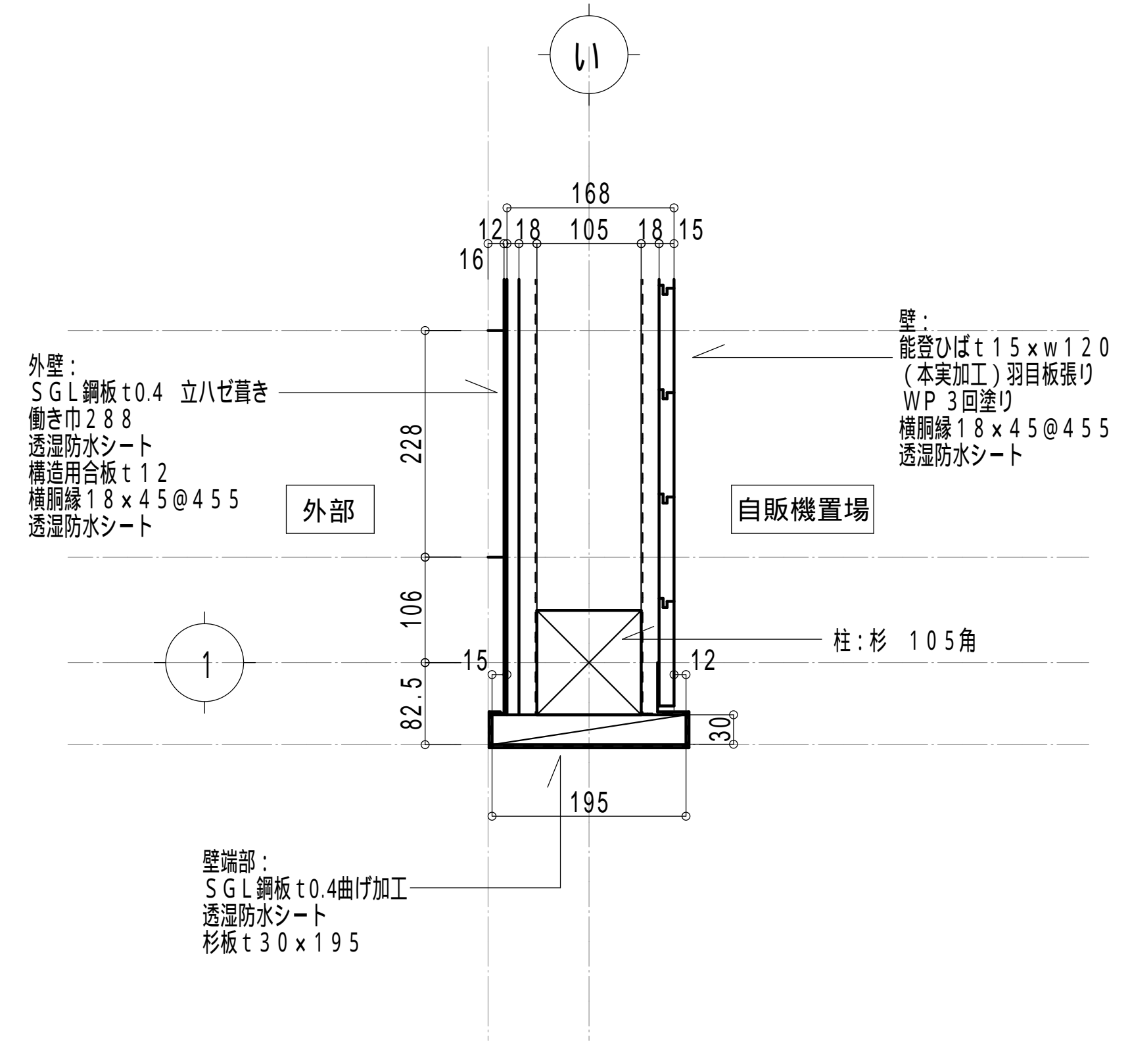
符号・数量	$\frac{6}{AW} \times 1$	$\frac{1}{TB} \times 1$	$\frac{2}{TB} \times 1$	$\frac{3}{TB} \times 1$	$\frac{1}{P} \times 1$	$\frac{2}{P} \times 1$
図						
場所・防火仕様	多目的WC	WC(男)	WC(女)	WC(女) SK	WC(男)	WC(女)
材種・見込	アルミ / 70	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16	メラミン系フェノール樹脂板 / 16
勝手	FIX窓	外開き戸	外開き戸	両開き戸	目隠しパーティション	目隠しパーティション
ガラス	型ガラス t4.0					
金物	アングル、取付金物一式	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)	SUS製笠木、SUS製巾木、支脚(黄銅)
備考		ゲビテヒンジ(SUS304HL)、戸当り帽子掛け、打掛錠(表示錠)	ゲビテヒンジ(SUS304HL)、戸当り帽子掛け、打掛錠(表示錠)	グラビティヒンジ(SUS304HL)	壁・コーナーレール(アルミ製)	壁・コーナーレール(アルミ製)
符号・数量		クリアバンパー、壁・コーナーレール(アルミ製)	外開き戸当り、クリアバンパー、壁・コーナーレール(アルミ製)	外開き戸当り、クリアバンパー、壁レール(アルミ製)		
図						
場所・防火仕様						
材種・見込						
勝手						
ガラス						
金物						
備考						
符号・数量						
図						
場所・防火仕様						
材種・見込						
勝手						
ガラス						
金物						
備考						



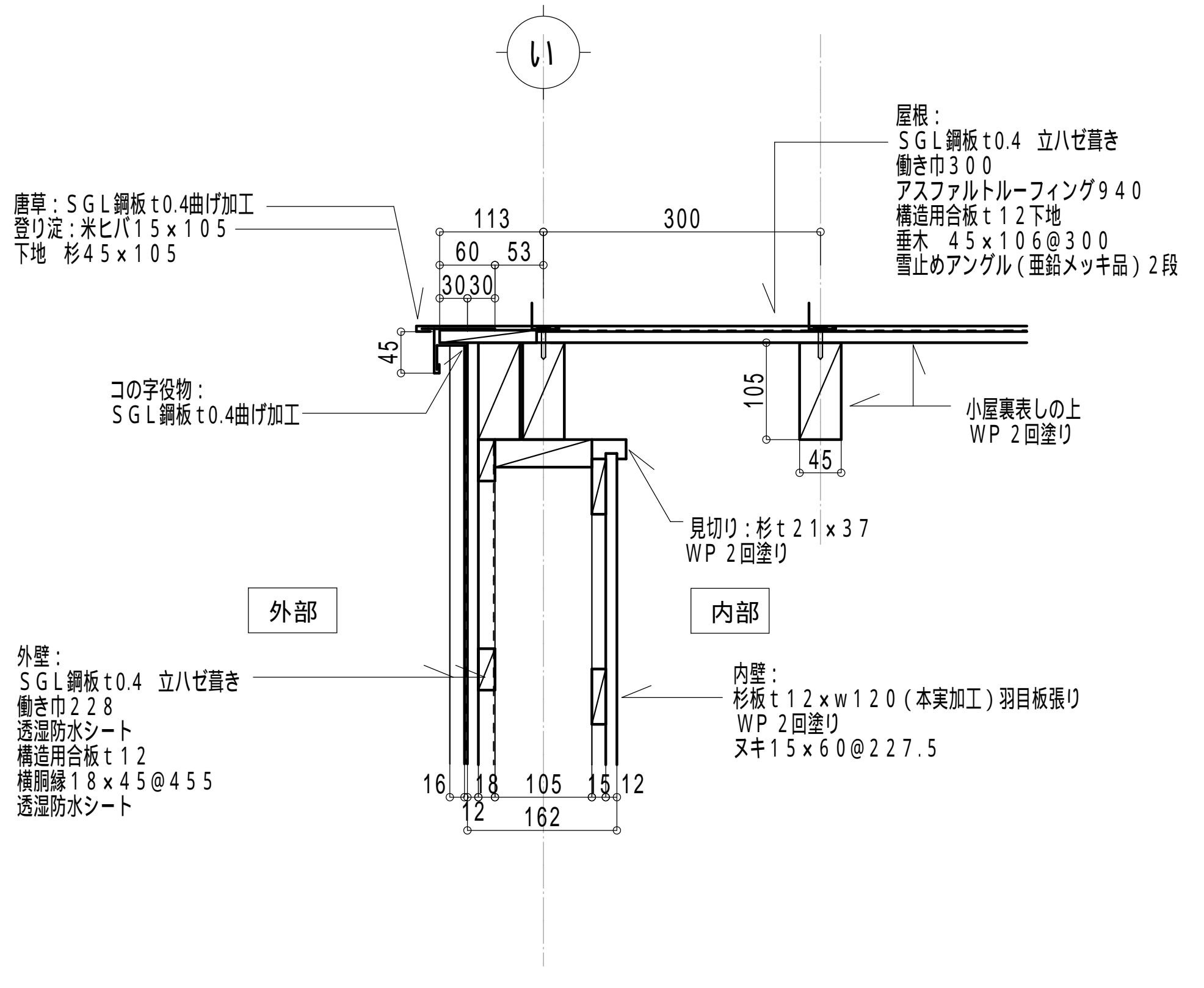
軒先 (水上) 部分詳細図 S = 1 / 5



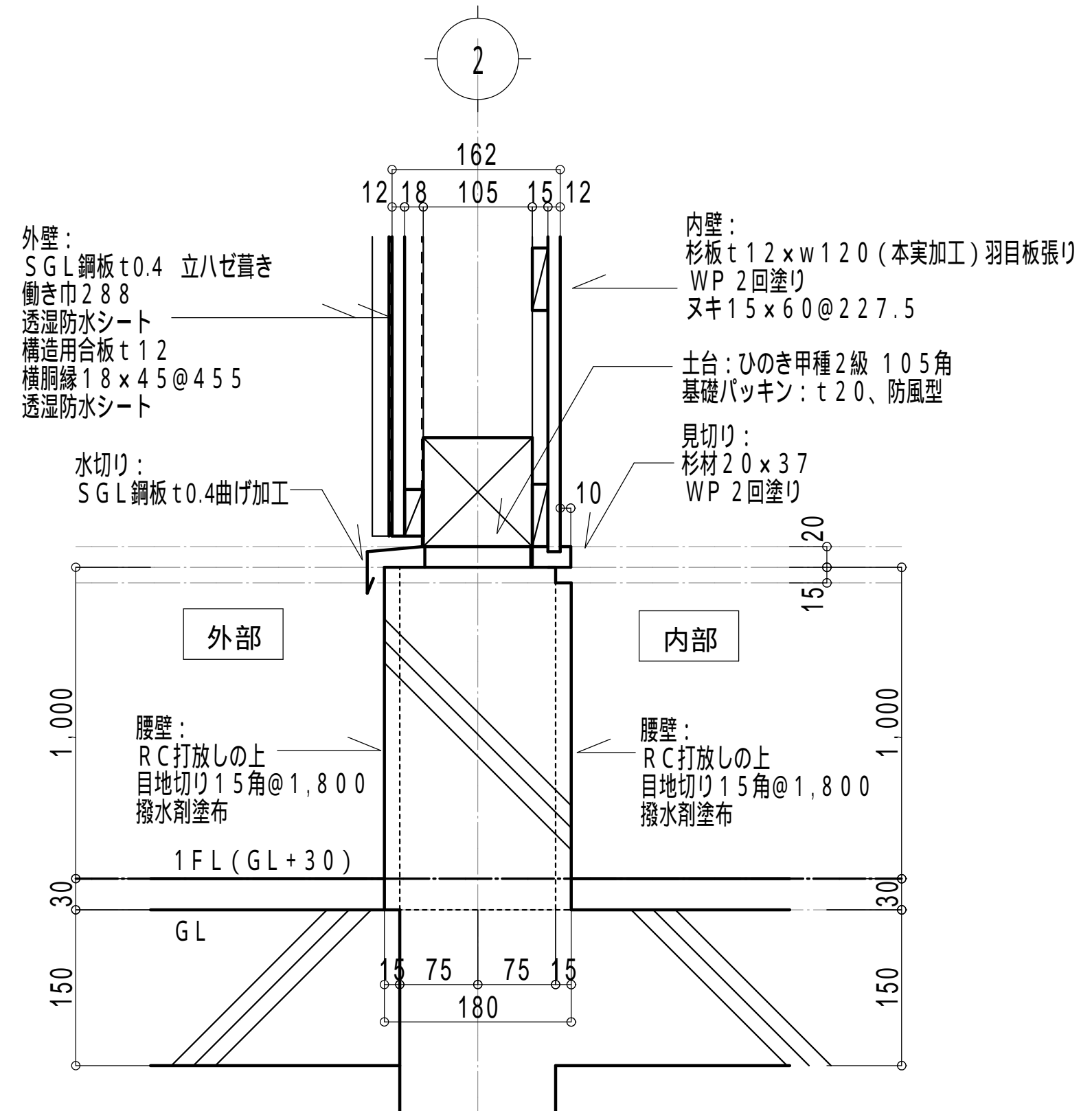
軒先 (水下) 部分詳細図 S = 1 / 5



袖壁 端部 部分詳細図 S = 1 / 5



ケラバ部 部分詳細図 S = 1 / 5



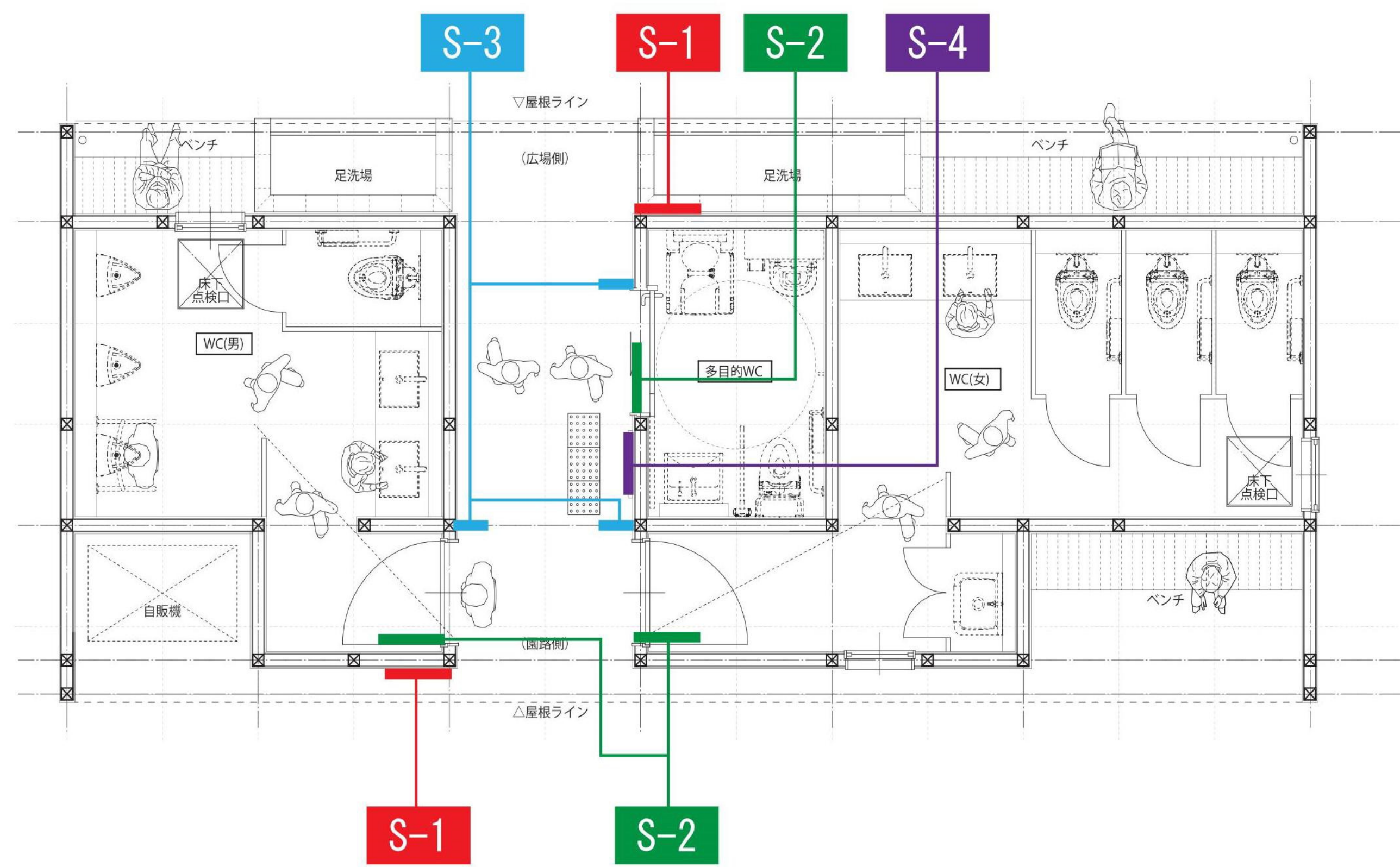
基礎立上り 部分詳細図 S = 1 / 5



記号	K-1 洗面カウンター S=1:30	K-2 洗面カウンター S=1:30	K-3 L型手摺 S=1:30	K-4 背もたれ S=1:30
形状寸法				
数量	1	1	5 (WC(男): 1、WC(女): 3、多目的WC: 1)	1
位置	WC(男)	WC(女)	WC(男)、WC(女)、多目的WC	多目的WC
材種	人工大理石カウンター(マーブライトカウンター同等品)	人工大理石カウンター(マーブライトカウンター同等品)	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	背もたれ: 発泡ウレタン フレーム: 塗装仕上げ鋼管
金物	専用ブラケット、付属金物一式	専用ブラケット、付属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
硝子				
塗装				
記号	K-5 跳ね上げ手摺 S=1:30	K-6 小便器用手摺 S=1:30	K-7 化粧鏡 S=1:30	K-8 棚板 S=1:30
形状寸法				
数量	1	1	5 (WC(男): 2、WC(女): 2、多目的WC: 1)	1
位置	多目的WC	WC(男)	WC(男)、WC(女)、多目的WC	S Kブース内
材種	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	心材-SUS304 外形 34 樹脂被覆品	耐食鏡 t5.0	メラミン化粧板フラッシュ
金物	附属金物一式	附属金物一式	SUS4方フレーム	棚板固定金物
硝子				
塗装				
記号	K-9 ライニング天板 S=1:30	K-10 ライニング天板 S=1:30	K-11 ライニング天板 S=1:30	
形状寸法	<p>K-9-1 D200×L2,540 1箇所 K-9-2 D200×L900 1箇所 K-9-3 D200×L800 3箇所</p>	<p>K-10-1 D150×L1,600 1箇所 K-10-2 D150×L1,870 1箇所 K-10-3 D150×L600 1箇所</p>	<p>K-11 D120×L1,035 1箇所</p>	
数量	-	-	-	
位置	各WC	各WC	各WC	
材種	メラミン化粧板、MDF下地	メラミン化粧板、MDF下地	メラミン化粧板、MDF下地	
金物				
硝子				
塗装				



■プロット図



S-1	トイレピクトサイン	2
S-2	トイレサイン(扉面)	3
S-3	トイレサイン(突き出し)	3
S-4	トイレ案内サイン	1

**S-1 トイレピクトサイン** S=1/10 数量 2基

仕様：t3.0 SUS 切り出し加工（焼き付け塗装仕上げ）

S=1/100

**S-2 トイレサイン (扉面)** S=1/20 数量 3基

仕様：インクジェットプリント貼

S=1/50

**S-3 トイレサイン (突き出し)** S=1/5 S=1/10 数量 3基

表示：t3.0 アクリル板+インクジェットプリント貼  
ブラケット：スチール加工塗装仕上げ

**S-4 トイレ案内サイン** S=1/10 数量 1基


仕様：t3.0 アルミ複合板+インクジェットプリント貼 +UV 触知図  
※MAP は仮の意匠です。





木場町

7.400

 山岸建築設計事務所 Yamagishi Architects + Engineers	設計年月日	2021.03	工事名	木場湯公園東園地トイレ棟建設工事(建築)	図番	A-24
	一級建築士事務所 一級建築士第334429号 山岸敬広	設計	製図	訂正	整理 2034	標題 全体配置図